取扱説明書

安心の
3年間保証付

エーハイム プロフェッショナル3e
2074/2076/2078

この取扱説明書は〈注意／一般的事項〉、〈フィルターのセットの手順、点検・お手入れ〉、〈コントロールパネル（タッチパネル）での各種機能操作・設定の説明〉の3項目にて構成されております。

世界初のマイクロプロセッサを搭載した外部式フィルター“便利な機能”が満載

モーターヘッド上部写真

▲コントロールパネル（タッチパネル）
簡単操作で流量調節

2078
Made in Germany
2076
2074

このたびは、エーハイム プロフェッショナル3e 2074/2076/2078をお買い上げいただき、誠に有り難うございます。

- ●製品の梱包には、万全を期していますが、通水する前に破損、亀裂などが無い事を点検してからご使用下さい。
- ●始めてセットした時は、セット後30～60分後にフィルターが正常に作動しているか、水漏れがないかを確認して下さい。また、留守にする前にセットしないで下さい。
- ●正しく安全にお使いいただくために、十分に理解してからご使用下さい。お読みになった後は保存し、必要な時にお読み下さい。
- ●本製品には保証書がついています。保証書は必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管して下さい。
- ●P3の「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ●本製品は屋内観賞魚飼育専用フィルターです。他の目的でご使用された場合の事故／トラブルには対応いたしません。

目　次

ページ	内　容	ページ	内　容
2	保証書の確認	24	2074　内部の水流の模式図
3	安全にお使いいただくために	25	セットの手順、点検・お手入れ、モーターヘッドの取り外し/ろ材のセット
4	2076/2078　パッケージの中をご確認ください、設置場所	26	モーターヘッドの取り外し/ろ材のセット
5	2076/2078　本製品の特徴　“便利な機能”	27	吸水部と排水部のセット
6	2076/2078　各部の名称	28	吸水ホースと排水ホースの取り付け、ホースアダプターのセット、呼び水の仕方
7	2076/2078　主要部品図	29	電源の入れ方 ー 作動確認、プレフィルターコンテナの掃除
8	2076/2078　ろ材のセット例	30~31	ろ材の洗浄
9	2076/2078　内部の水流の模式図	32	インペラー部の掃除
10	2076/2078　セットの手順、点検、お手入れ(2076/2078共通)	33	フロートの掃除
11	モーターヘッドの取り外し、ろ材のセット	34~35	故障かなと?思ったら　(2074、2076、2078共通)
12	吸水部と排水部のセット	36	各種機能(流量調節等)操作/設定　(2074、2076、2078共通)
13	吸水ホースと排水ホースの取り付け、ホースアダプターのセット、呼び水の仕方	37	本フィルターを作動後、一度停止させた後に再スタートする場合
14	電源の入れ方 ー 作動確認、プレフィルターコンテナの掃除	38	他の機能へ移行する場合、アウトプットコントロール
15	ろ材の洗浄	39	ストリームファンクション、ストリームファンクションの解除
16	インペラー部の掃除	40	12時間バイオファンクション
17	フロートの掃除	41	12時間バイオファンクションの解除、サービスインディケーター
18	2074　パッケージの中をご確認ください、設置場所	42	コントロールパネルの初期化、マニュアルモードの設定
19	2074　本製品の特徴　“便利な機能”	43	マニュアルモードの解除
20	2074　各部の名称	44~45	エラーインディケーター
21	2074　主要部品図	46~47	メモ
22	エーハイムコントロールセンターについての説明	48	プロフェッショナル3e シリーズ仕様比較表、サービスセンター/ホームページのご案内
23	2074　同梱ろ材/別売交換用パッドセット		

保証書のご確認を

お買上げ日、販売店様の名称、住所、電話番号が記入されているか、必ずご確認下さい。

万一故障した場合には、下記に記載の内容で無料で修理・調整致します。
お買上げの日より保証期間内(3年)に故障が発生した場合は、お買上げの販売店に保証書を添えてご相談下さい。

無料修理規定

1.保証期間内に取扱説明書、貼付シールなどの注意書にしたがった使用状態で故障した場合には、無料で修理・調整致します。
2.保証期間内無料修理の場合、お買上げの販売店に保証書を添えてご依頼下さい。
3.ご転居等でお近くにエーハイム商品取扱店が無い場合には、弊社エーハイムサービスセンターにご相談下さい。
4.保証期間内でも、次の場合は有料となります。
(1)保証書のご提示がない場合。
(2)保証書にお買上げの年月日、販売店名等の記入がない場合。あるいは字句を書き換えられた場合。
(3)使用上の誤り、他の機器や器具等から受けた損害。
(4)不当な修理や改造による故障または損傷。
(5)異常電圧を含む電源不適合。
(6)お買上げ後の移動、落下などによる故障及び損傷。
(7)火災、地震、風水害、落雷など天災地変による故障または損傷。
(8)飼育動物による故障または損傷。
(9)観賞魚水槽以外でのご使用による故障及び損傷。
(10)付属品(インペラー、スピンドル、フィルターケースOリング、吸水口、排水口、フック等)などの消耗による交換。
5.保証書は再発行致しませんので大切に保管して下さい。
6.保証書は日本国内においてのみ有効です。
尚、本書ならびに保証書の発行によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＊保証期間外及び保証適用外での修理は有料です。ご不明な場合、お買上げ店または弊社エーハイムサービスセンターにご相談下さい。

安全にお使いいただくために

ご使用前に本書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。誤ってご使用された場合の保証および事故については、弊社では責任を負いかねますので予めご了承下さい。

⚠注　意

火災・漏電事故などを避けるためにお守り下さい。

電源コードやプラグを加工したり、ご使用時にたばねたり、柱に打ちつけたりしないで下さい・決して痛んだまま使わないで下さい。電源コードの交換は構造上不可能です。
●電源はAC100ボルトの専用コンセントをお使い下さい。●タコ足配線やテーブルタップ(延長コード)の使用は避けて下さい。
●コンセントやプラグ、コードに埃(ほこり)が被らないようにして下さい。
●プラグを差し込むときは、隙間が出来ないよう、しっかり押し込んで下さい。
●水滴や飛沫がプラグやコンセントを濡らさないようご注意下さい。
●痛んだコードは、湿気や水濡れにより火災をおこす恐れがあります。
●プラグの刃の部分、刃と刃の間の汚れは定期的に取り除いて下さい。
●電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。
●引火性のもの(ガソリン、シンナーなど)の近くで使用しないで下さい。
●水槽より低い位置でコンセントを使用する場合は、水切り用トラップ(右図)を設けて下さい。

トラップ

本製品は磁界を発生させるため、磁気媒体をはじめとした磁気の影響を受ける機器は近づけないで下さい。また、ペースメーカーをはじめとする磁気の影響を受ける可能性のある医療機器や精密機器をご使用の場合は、それらの機器類の取り扱い説明書に記された安全距離(20cm以上)を必ず保つようにして下さい。

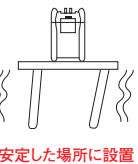
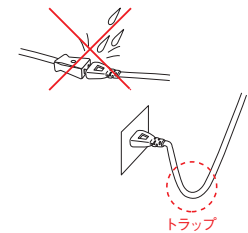
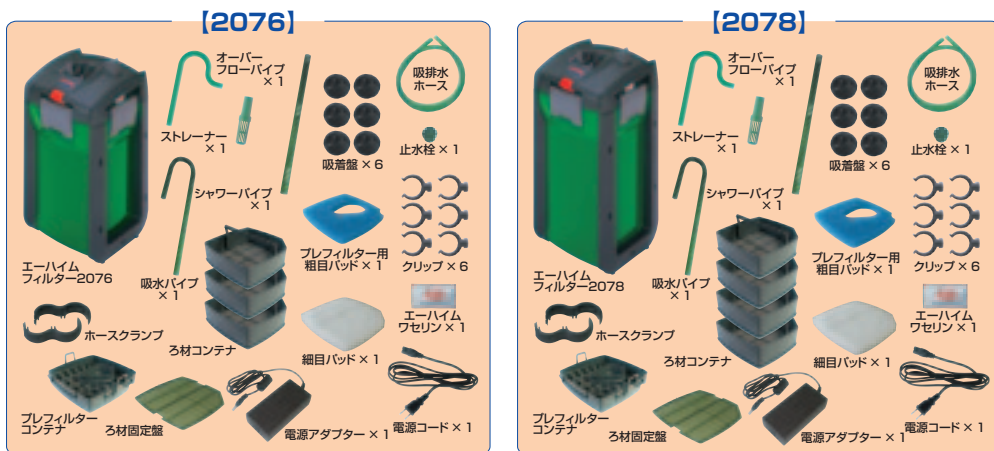
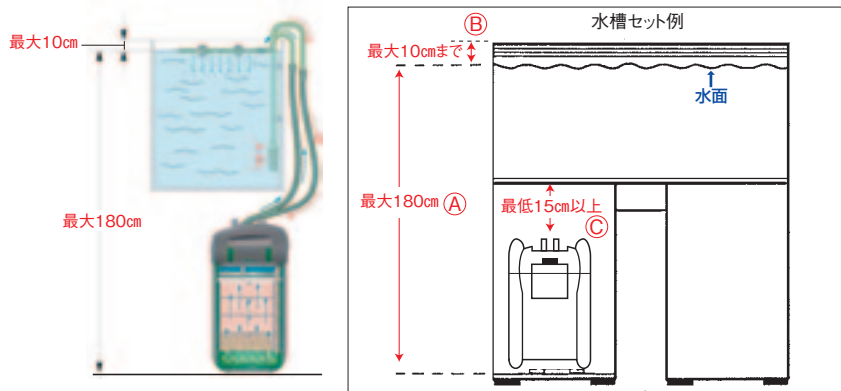
水の中に手を入れる時は必ずコンセントからプラグを抜いて下さい。

エーハイムによる事故や故障を避けるためにお守り下さい。

●エーハイムは水面より低い位置にあることと同時に、エーハイムの底と水槽水面との高低差が最大180cm以内になるようにセットして下さい。
●定期的に各部を掃除し、汚れの付着や目詰まりなどを防いで下さい。エーハイムは水冷式モーターですので、汚れや目詰まりなどは大敵です。特にモーター内部駆動部分の掃除や取付けたスポンジ類／パッド類の掃除は忘れがちですので本書に従って定期的に実施して下さい。
●各部に使用されているOリングは、いずれも経年劣化しますので劣化が認められたら交換してください。Oリングが劣化したまま使用しますと水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
●ろ材は各フィルター専用の各種パッド類と、エーハイムメック又はサブストラットプロ レギュラーをお使い下さい。又、ろ材は入れ過ぎないで下さい。
●弱った魚や小さな魚などが水槽のガラス壁とパイプあるいはストレーナーの間にはさまれる場合がありますので予めご注意下さい。
●エーハイムを空運転させないで下さい。故障の原因となります。
●ホースは専用ホースを使い、折れ曲がったり、たるんだりしないように正しく取付けて下さい。
●エーハイムを運転する前に接続部が正しく取付けられ、水漏れや停滞や逆流などがないかをよく確認して下さい。
●本器は日本仕様として製造されています。国内でのみお使い下さい。
●フィルターの目詰まり、故障に備えて、エアーポンプによるエアーレーションの併用、または補助フィルターを併用して下さい。
●本器は屋内専用です。また屋内であっても高温になったり、凍ったりするような場所に設置しないで下さい。

屋外禁止

●強度のしっかりした安定した場所に正しく設置して下さい。また、漏水などの時、大変危険ですのでテレビやステレオ、パソコンなど電気製品の周囲に絶対に置かないで下さい。
●エーハイムは梱包など万全を期しておりますが、ご使用になられる前に必ず破損など異常がないかをチェックして下さい。破損などが見つかった場合は御使用なさらずにお買い上げ店にお申し出下さい。
●適合水槽は魚の数、環境によって異なります。海水魚、大型魚などを飼育する場合は、他フィルターの併用か匹数を調整して下さい。
●稚魚・小型魚がストレーナー部の吸い込み口より小さい場合、吸い込まれることがあります。スポンジプレフィルターを必ずご使用下さい。
●設置場所によってはクッションラバーの跡やフィルターケースカバーの跡が残る場合がございます。ご確認下さい。
●本製品は品質向上等の為、おことわりなく仕様を変更する場合もありますので予めご了承下さい。

エーハイム製品のお取扱い方法・お手入れ方法・修理その他ご不明な点は、
機種名をご確認の上、お買上げの販売店又は弊社にご相談下さい。

パッケージの中をご確認ください

【2076】

【2078】

設置場所/セット時のご注意

●フィルターは、傾けて使用したり、寝かせて使用せず垂直にした正しい位置でご使用ください。

●エーハイムフィルターのモーターヘッドの上の部分が水面より10cm以上低くなるように置く場所を決めます。ただし、図のように高低差が最大180cm以内Ⓐになるようにセットしてください。なお水槽の横にセットされる場合、呼び水レバーによる呼び水機能を確実にするため、水槽上縁から水面までの高低差は最大で10cmⒷまでとしてください。2076/2078本体の高さは約48/53cmですが、ホースの脱着やメンテナンス時の利便性を配慮して最低でもキャビネット内天板と15cm以上Ⓒの空間を上部に確保してください。

●同梱のホースが設置場所によっては足りなくなる場合がございます。エーハイム純正ホース(4005940:φ16/22mm)をご使用ください。

●ストリームファンクション(パルス機能)や12時間バイオファンクションをセットした時は、クーラーやディフューザー、底面フィルター、スポンジプレフィルター、殺菌灯等との接続は流量が変化しますのでご注意ください。特にストリームファンクション(パルス機能)セット時にはクーラーは別の駆動フィルター/ポンプで稼動させる事をお勧めします。又、ディフューザーは水量が下がった時にサイフォン機能が働き、水漏れ(エアーチューブより)の原因になることがありますのでご注意ください。

●ストリームファンクション(パルス機能)や12時間バイオファンクションでは水流(量)が変化します。水槽サイズはセットした最大流量に合わせてお選びください。例:ストリームファンクションでの最大流量は1850ℓ/h(ポンプ流量)です。

●最初のフィルターセットの時の流量(工場出荷時)は約1350ℓ/h(ポンプ流量)にセットされております。シャワーパイプの向きなどにご注意ください。

●1日に一度、自動流量検知(Auto Calibration)の機能が働きます。この時の流量は、約1350ℓ/h(ポンプ流量)まで増えます。時間は約1分。この事を考慮して水槽サイズをお選びください。

例 流量表示ランプ1個のコンスタントフロー(780ℓ/h(ポンプ流量))で作動をしているとき。1日に一度約1350ℓ/h(ポンプ流量)まで増えます(約1分間)。

●電源のON / OFFは、電源プラグの抜き差しで行ってください。

本製品の特徴(“便利な機能”)

アウトプットコントロール(排水量制御)

最低の排水量(780ℓ/h(ポンプ流量))から最大の排水量(1850ℓ/h(ポンプ流量))まで、希望する流量(コントロールパネルの流量表示ランプ単位)をセットできます。最大流量のターボ排水は、他社製の類似フィルターに大きな差を付けています。これにより、対応する水槽サイズのレンジが広くなり、たとえ水槽サイズを替えてもこの1台で対応できます。また、専門的になりますが、生物ろ過のスピードをコントロールできます。

コンスタントフロー(クルーズコントロール)

ろ材の汚れによって流量が低下するとそれを感知して、設定した流量が維持できるように、自動的にインペラーの回転数を電子制御します。これにより長期にわたって流量の低下を気にせずに済み、ろ材を洗浄するインターバルを長くすることができます。

ストリームファンクション(パルス機能)

10秒の間隔で、流量の強(1850ℓ/h(ポンプ流量))、弱(780ℓ/h(ポンプ流量))を繰り返す機能です。熱帯魚、水草、海水魚、海洋無脊椎動物などが生息する自然環境を模した水流を再現することができます。一度セットすると継続的に運転します。

ご注意:最大流量(1850ℓ/h(ポンプ流量))時の水流の強さ(ろ材、使用環境により異なります)を考慮に入れて、水槽サイズを決めご利用ください。小さな水槽では最大流量時に水が飛び出す事が考えられます。

アクセサリー、他の器具との接続はセット時のご注意をご覧になりセットしてください。

12時間バイオファンクション(12時間ごとの排水量の自動切り替え)

例えば、水草レイアウト水槽の場合など、昼間は緩やかな水流に、夜間は強めの水流にセットすることができます。具体的には、昼間の午前7時より午後7時までの希望流量(ポンプ流量)、夜間の午後7時より翌朝の午前7時までの希望流量(ポンプ流量)。飼育されている魚や生き物に合わせた水流の調整を簡単に行うことができます。一度セットすると継続的に運転します。

ご注意:セットした強めの水流の時に、水槽より水がこぼれないかご注意ください。

アクセサリー、他の器具との接続はセット時のご注意をご覧になりセットしてください。

サービスインディケーター

コントロールパネルに触ることにより、マイクロプロセッサが自動的に次のろ材の洗浄時期を表示します。
一つのグリーンライトが1ヶ月を示します。掃除の時期を気にすることなく飼育が可能です。

自動エアー排出機能

インペラー付近にエアーがたまった場合(いわゆるエアーがみ)、自動的に解消してくれます。
自己(フィルター自身)解決できない場合はエラーインディケーターが赤く点灯して、その旨の表示をします。
セット時、再セット時に、インペラー付近に少々エアーがたまっても自動的に排出され、通常運転を行います。

エラーインディケーター

フィルター本体に何か起こった場合は、自動的にフィルターをテストして、自己(フィルター自身)解決ができない場合は、その旨をコントロールパネルに表示します。

各部の名称

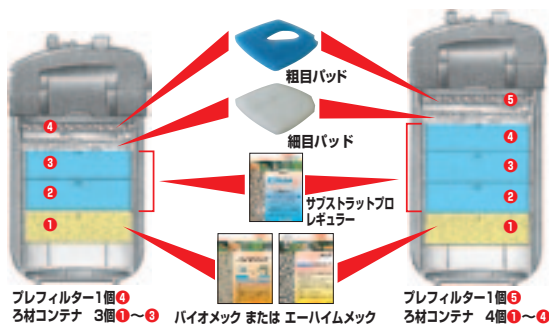
1. 粗目フィルターパッド（ブルー）
2. プレフィルターOリング（2種）
3. プレフィルターコンテナ
4. 逆流防止弁
5. ろ材固定盤
6. 細目フィルターパッド（ホワイト）
7. ろ材コンテナ（2078は4個）（2076は3個）
8. パーティションパイプ
9. EZクリップ
10. フィルターケース／フィルターケースカバー
11. ホースクランプ
12. シャットオフレバー
13. ホースアダプター
14. ブラケット
15. フロート
16. 呼び水レバー
17. モーターヘッド
18. レッドセーフティーキャッチ
19. コントロールパネル（タッチパネル）
20. フィルターケースOリング
21. インペラー
22. ポンプカバー
23. ホース（16/22mm）
24. オーバーフローパイプ
25. シャワーパイプ
26. クリップ付吸着盤
27. 吸水パイプ
28. 電源アダプター
29. ストレーナー
30. 電源コード

主要部品図

エーハイムコード	品名	エーハイムコード	品名	エーハイムコード	品名	エーハイムコード	品名
1278000	モーターヘッド	7212328	フィルターケース 2076用	7428608	EZクリップ	7428680	ホースアダプター用Oリング
2616760	粗目フィルターパッド（ブルー）	7212538	電源アダプター	7428618	フィルターケースカバー 2076用	7428690	ポンプカバー
2616760	細目フィルターパッド（ホワイト）	7221058	モーター部Oリング	7428730	フィルターケース（サイドカバー付）2078用	7428718	ホースアダプター
4005710	オーバーフローパイプ	7271950	クッションラバー	7428630	パーティションパイプ 2076用	7428728	フロートセット
4005940	ホース（16/22mm）	7275808	吸水パイプ	7428640	パーティションパイプ 2078用	7471800	ストレーナー
4015150	クリップ付吸着盤	7277708	止水栓	7428658	ろ材コンテナ（2078は4個）（2076は3個）	7603220	インペラー
7212018	フィルターケース 2078用	7343850	シャワーパイプ	7428668	プレフィルターコンテナ		
7212108	ろ材固定盤	7428580	逆流防止弁	7428670	Oリングセット		
7212258	ホースクランプ	7428590	スピンドル/ラバー	7428680	パーティションパイプOリング		

ろ材のセット例

プロフェッショナル3e 2076/2078のろ材としては、エーハイムサブストラットプロ レギュラー、バイオメック、エーハイムメックをご使用ください。

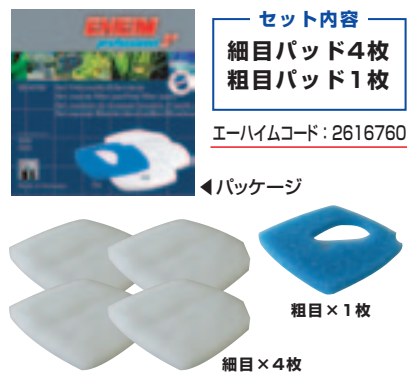
2076のろ材使用例　**2078のろ材使用例**

エーハイム プロフェッショナル3e 2076/2078専用パッド

セット内容
細目パッド4枚
粗目パッド1枚

エーハイムコード：2616760

◀パッケージ

粗目×1枚

細目×4枚

お買得専用ろ材セット

2076専用ろ材セットーM

シクリッド、中～大型魚、淡水魚等の水槽用に（物理ろ過重視）

エーハイムコード：2076999

※省資源化のためろ材の化粧箱は省かれております。

2078専用ろ材セットーM

シクリッド、中～大型魚、淡水魚等の水槽用に（物理ろ過重視）

エーハイムコード：2078999

※省資源化のためろ材の化粧箱は省かれております。

サブストラットプロ・レギュラー

▲直径 6～11mm

内容量

5ℓバッグ　:2519000
5ℓ化粧箱入り　:2510751
1ℓ　:2510061

エーハイムメック

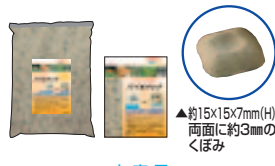
▲直径（外寸）約9～12mm
長さ 約9～13mm

内容量

5ℓバッグ　:2519003
5ℓ化粧箱入り　:2507751
1ℓ　:2507061

エーハイム バイオメック

▲約15×15×7mm(H) 両面に約3mmのくぼみ

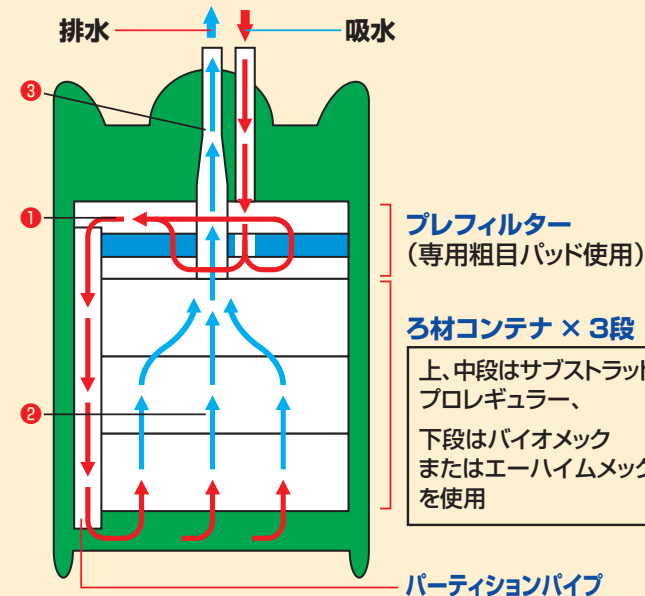
内容量

5ℓバッグ　:2519008
1ℓ　:2508051

内部の水流の模式図

2076の例

❶水槽からの「汚れた飼育水」はまずプレフィルターで粗いゴミをこし取られ、フィルターケースの最下部へ。

❷最下部から上に向かう「汚れた飼育水」は、ろ材に着生したろ過バクテリアの働きで「きれいになった飼育水」へと変化。

❸「きれいになった飼育水」は水槽へと戻る。

従来の外部式フィルターでは、すべてのろ材を取り出してから掃除を行っていました。ところが**エーハイムプロフェッショナル3e**2074/2076/2078では、これまでの外部式フィルターとは異なり、フィルターケースの最上部にプレフィルターがセットされています。そのため、他のろ材には手を付けることなく、プレフィルターだけを簡単に取り出して洗浄することができます。

このように、エーハイム2074/2076/2078ではプレフィルターでゴミを取り除くため、大きなゴミが直接ろ材へ進入することを防ぎ、**ろ材の掃除（メンテナンス）のインターバルが長くなります。**

【プレフィルターコンテナ】

フィルターケースにセットされたろ材コンテナ最上部がプレフィルターコンテナなので、小規模な掃除の際にはプレフィルターコンテナだけを簡単に取り出せます。

【吸水受け入れ孔】

吸水口からフィルターケース内に導かれた「汚れた飼育水」は、プレフィルター専用粗目パッドに開けられたこの孔から、いったんプレフィルターコンテナ底に落ち込み、続いてプレフィルター専用粗目パッドを下から上へと透過します。

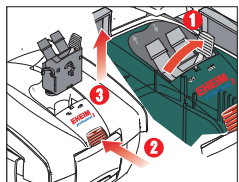
【パーティションパイプ入水口】

プレフィルター専用粗目パッドを透過して、まずは粗いゴミをこし取られた「汚れた飼育水」は、ここからフィルターケース最下部へと導かれます。

【逆流防止弁】

ろ過が終わって「きれいになった飼育水」を送り出すポンプの下には、「きれいになった飼育水」が一方通行でポンプに送られるように、逆流防止弁が付いています。

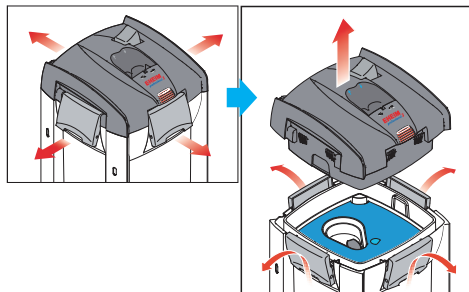
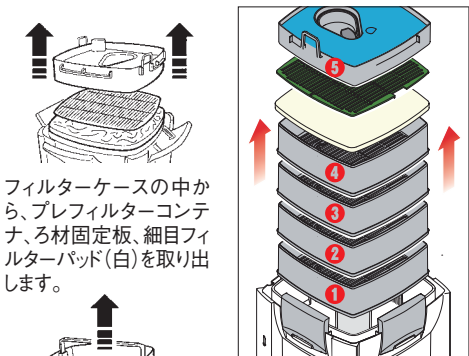
セットの手順、点検・お手入れ（2076/2078共通）

全ての作業は電源プラグをソケット/コンセントより抜いて（はずして）作業してください。

I モーターヘッドの取り外し／ろ材のセット

❶ホースアダプターの取り外し

❶シャットオフレバーを「OFF」の位置にする
❷レッドセーフティキャッチを押す
❸ホースアダプターを外す（真上方向）

❷モーターヘッドの取り外し

フィルターケースの側面4箇所にあるEZクリップを解除し、モーターヘッドを取り外します。

❸フィルターケースからろ材コンテナの取り出し

フィルターケースの中から、プレフィルターコンテナ、ろ材固定板、細目フィルターパッド（白）を取り出します。

フィルターケースの中から、3つ（2076）又は4つ（2078）のろ材コンテナを全部取り出します。ろ材コンテナには引き出し式の手持ち用ハンドルが付いているので、これを使うようにして下さい。

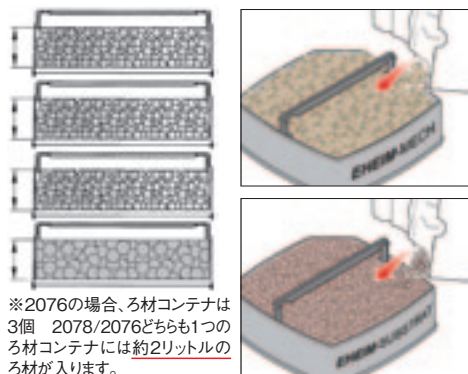
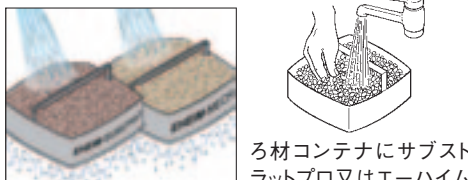
❺プレフィルターコンテナ

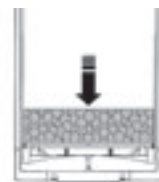
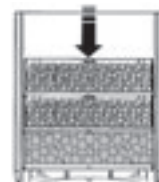
❹〜❶ろ材コンテナ（2076の場合は3個です）

詳しくは8ページのろ材使用例を参照

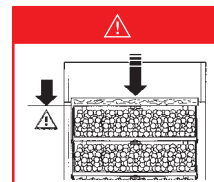
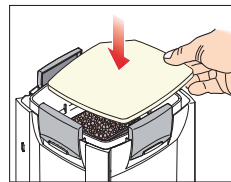
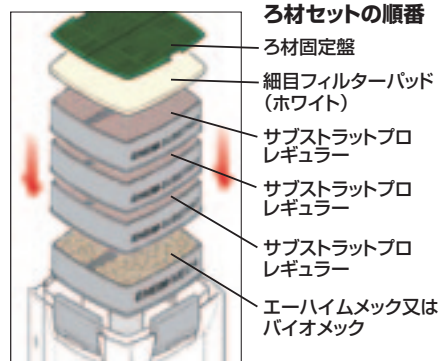
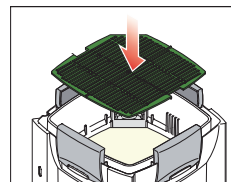
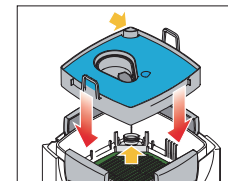
❹ろ材のセット（2078の場合：ろ材コンテナが4個）

4つのろ材コンテナそれぞれにろ材を入れます。フィルターケースのいちばん下に入るろ材コンテナにはバイオメック又はエーハイムメックを、残りの3つのろ材コンテナにはサブストラットプロ レギュラーを入れて下さい。なお、手持ち用ハンドルが収納できないほど多量のろ材をコンテナに入れてはいけません。適量を入れるようにして下さい。おおよその目安として、サブストラットプロ レギュラー6ℓ（2ℓ×3個）、エーハイムメック2ℓ、又はバイオメック2ℓをご用意下さい。

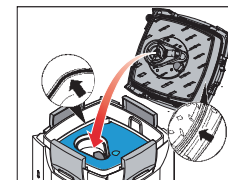
※2076の場合、ろ材コンテナは3個　2078/2076どちらも1つのろ材コンテナには約2リットルのろ材が入ります。

❺ろ材の洗浄

ろ材コンテナにサブストラットプロ又はエーハイムメックを入れたら、流水で濁り水が出なくなるまで十分に洗浄します。

❻ろ材コンテナのセット（フィルターケースに入れる）

フィルターケースのいちばん下にエーハイムメック又はバイオメックが入ったろ材コンテナを入れます。ろ材コンテナのハンドルは降ろして下さい。

エーハイムメック又はバイオメックが入ったろ材コンテナの上に、サブストラットプロ レギュラーが入ったろ材コンテナを3個（2076の場合は2個）続けて入れます。ろ材コンテナのハンドルは降ろして下さい。

❼細目フィルターパッド（ホワイト）のセット／ろ材固定盤のセット

いちばん上のろ材コンテナの上に細目フィルターパッド（白）を敷き、その上にさらにろ材固定盤を載せます。このとき、ろ材コンテナの手持ち用ハンドルがきっちり収納されていることを確認して下さい。

⚠ 細目フィルターパッド（白）は、必ず一番上のろ材コンテナ（ハンドルを下げた状態）のハンドル上に載せて下さい。

❽プレフィルターコンテナのセット

フィルターケースに粗目フィルターパッド（ブルー）を入れたプレフィルターコンテナを入れます。このとき、プレフィルターコンテナとパーティションパイプがしっかり接続（黄色矢印部分）されているか確認して下さい。

❾モーターヘッドの装着

フィルターケースにモーターヘッドを装着します。このとき、2個所のOリング（矢印部分）によじれがないか、異物がひっかかったり挟まったりしていないか、などをよくチェックし、モーターヘッドとフィルターケースがしっかり密着したことを確認してから、EZクリップを確実にロックするようにして下さい。

Ⅱ 吸水部と排水部のセット

❶ クリップと吸着盤のセット

同梱のクリップと吸着盤をイラストの様にセット（6個）します。

❷ 吸水部のセット

吸水パイプとストレーナーを接続し、水槽壁面にクリップ付吸着盤で取りつけます。
水槽フレームにより吸水パイプが傾いてしまう場合は、別売りのアーム（4004560）をご使用下さい。また水槽フレームの巾が大きすぎて吸水パイプがセットできない場合は、下図の矢印部をカットしてホースを接続して下さい。カット部はケガをしないように、処理して下さい。
折れ曲がる場合にはエルボーコネクターをご使用下さい。吸水パイプが長い場合、底砂から5cm以上の位置を目安にカットしてご使用下さい。

❸ 排水部のセット

イラストのようにオーバーフローパイプとシャワーパイプを接続用ホースによって接続し、止水栓をセットしてから、クリップ付吸着盤で取り付けます。

シャワーパイプの排水穴の位置

図のように、排水パイプの排水穴を下部に向けたり、水平にすることにより、水面の動きを希望通りに調整できます。

呼び水はシャワーパイプを水面より上にセットします。
呼び水完了後にはシャワーパイプを好みの位置にします。

Ⅲ 吸水ホースと排水ホースの取り付け

❶ ホースのカット

吸水と排水のホースは、折れ曲がりやたわみが無いように吸水パイプ、シャワーパイプに合わせてカットします。カットする際はホースの切り口が斜めにならないよう、まっすぐに切ってください。
※折れ曲がったホースは温水に浸すことで柔らかくなり、折れ曲がりが矯正されます。

ホースの切り口
× ○

❷ ホースをホースアダプターに取り付け

本体正面（ホースアダプターをモーターヘッドにセットした状態）より向かって右側に吸水、左側に排水、それぞれのホースを根元までしっかりと差し込みます。イラストのホースの中の矢印（青）は水流を示し、赤い矢印はホースをアダプターに差し込むことを示しています。この作業は2076/2078本体からホースアダプターを取り出した状態で行うことも可能ですが、くれぐれも吸水側、排水側の差し込み違いにご注意ください。

❸ ホースクランプの取り付け

ホースアダプターに取り付けたホースの付け根の部分に、ホースクランプをしっかりと確実に固定します。

Ⅳ ホースアダプターのセット

ホースアダプターをモーターヘッドに装着するには、「カチッ」と音がするまで、ゆっくりしっかりと確実にはめ込みます。
この時、シャットオフレバーは必ず「OFF」の位置にして下さい。レッドセーフティキャッチにはさわらないで下さい。
ホースアダプターのシャットオフレバーを「ON（開く）」の方向にいっぱいまで傾けます。これでホースアダプターがモーターヘッドにロックされると同時に、吸水口と排水口が完全に開放されます。
シャットオフレバーが「ON」の位置に移動しない場合は無理をせず、ホースアダプターを外し、もう一度装着し直して下さい。

Ⅴ 呼び水のしかた

必ずシャットオフレバーが「ON」の位置になっていることを確認して下さい。
クーラーなどの接続機器がある場合はそれら全ての機器内の水も抜いておきます。
またこの時、シャワーパイプは水面より上にセットします。
電源を切った状態で、呼び水レバーをしっかりと奥まで数回押し込みます。
するとフィルターケース内に水槽から水が導かれます。
そして、排水ホースの中の水が水槽の水位と同じまで上昇し、フィルターケースが満水になったことが確認できましたら、シャワーパイプをお好みの位置に移動します。
次は電源を入れるステップⅥになります。

VI 電源の入れ方～作動確認

❶電源アダプターをモーターヘッドの受け口に差し込みます。

フィルターケース内が満水になっていることを確認します。
電源アダプターをモーターヘッドの受け口に差し込みます。
この時、電源アダプターと電源コードは接続しない状態です。

❷電源アダプターと電源コードを接続します。

この時、電源プラグはコンセント（100V）には接続しない状態です。

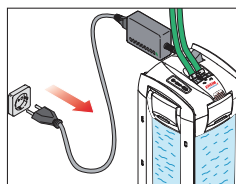
❸電源プラグをコンセント（100V）に差し込みます。

モーターヘッド/インペラーが作動してインペラー周りのエアーを掃きだす作業を繰り返します（この際、呼び水レバーを2～3回押すと通常よりも速くエアーが掃きだされます）。
インペラー周りのエアーが掃きだされると水が勢いよく出てきます。
なお、フィルター本体を作動させてから30分ほどの間は、正常に作動しているか、また、各部に水漏れはないかを必ずチェックして下さい。

❹流量調節についてはP38のアウトプットコントロール（流量の調節）を参照にご希望の水流調節を行ってください。

❺この段階で水流を止めたい場合はコンセント（100V）に差し込んでいる電源プラグを抜いてください。

VII プレフィルターコンテナの掃除

もっとも汚れやすいプレフィルター部分は、飼育条件を考慮して定期的に掃除してください。

❶電源プラグをコンセント（100V）より抜きます。

❷シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出します。

❸モーターヘッドの取り外し

フィルターケースの側面4箇所にあるEZクリップを解除し、モーターヘッドを取り外します。

❹プレフィルターコンテナを取り出します。

❺粗目フィルターパッド（ブルー）を取り出します。

❻粗目フィルターパッド（ブルー）を水洗いします。

❼プレフィルターコンテナの中に溜まったゴミや砂等を水で洗い出します。

❽水で洗った粗目フィルターパッド（ブルー）を再びプレフィルターコンテナにセットします。
※粗目フィルターパッド（ブルー）は飼育条件によりますが、6ヶ月に1度が交換の目安です。

❾プレフィルターコンテナをフィルターケース内に戻します。この際、パーティションパイプ（イラスト内黄色矢印）が合うように向きに注意して入れてください。

❿逆流防止弁は必ず上に開閉する機能です。開閉の向きを確認してください。

⓫プレフィルターOリング、フィルターケースOリングに汚れ等が付着していましたら、きれいに掃除をしてエーハイムワセリンを塗布してください。

⓬モーターヘッドをフィルターケースに取り付けます。セットの手順、点検・お手入れ～モーターヘッドの装着を参照してください。

⓭ホースアダプターを取り付け（ホースアダプターのセットを参照）、呼び水レバーを押して水を呼びこみます。

VIII ろ材の洗浄

❶電源プラグをコンセント（100V）より抜きます。

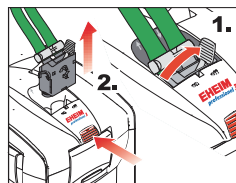
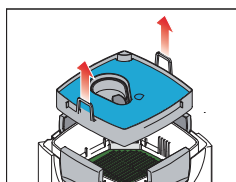
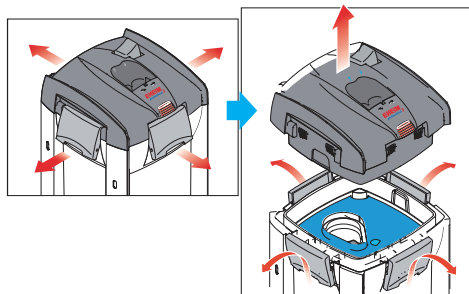
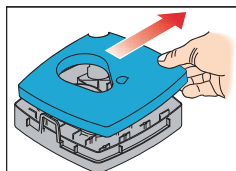
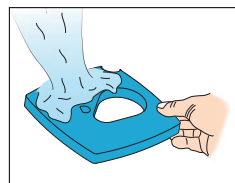
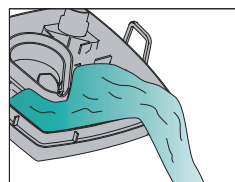
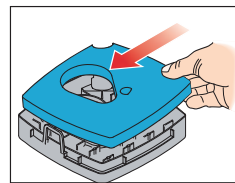
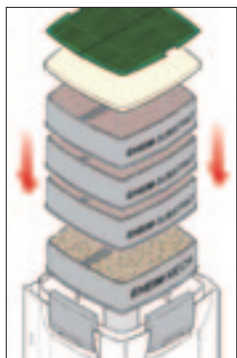
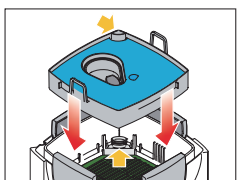
❷シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出し、モーターヘッドを取り外します。

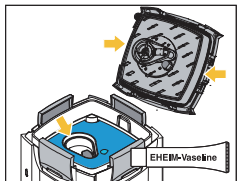
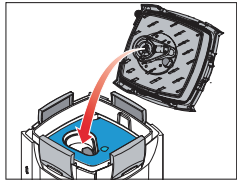
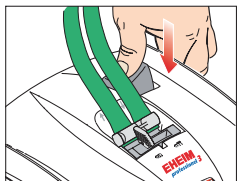
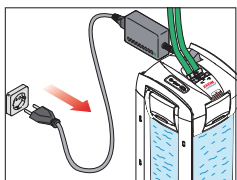
❸プレフィルターコンテナ／ろ材固定盤／細目フィルターパッド（ホワイト）を取り出します。

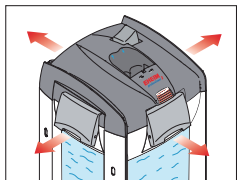
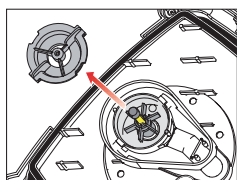
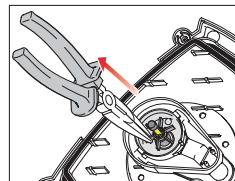
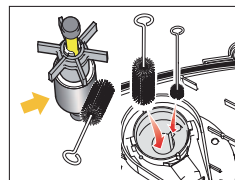
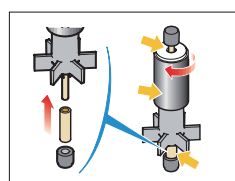
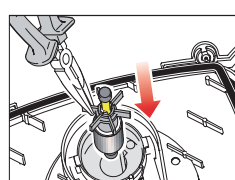
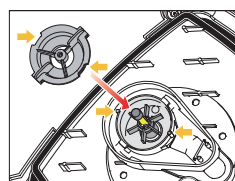
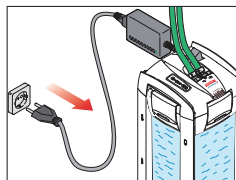
❹ろ材コンテナを順番に取り出します。

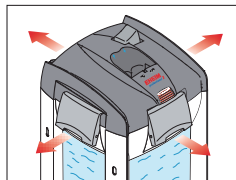
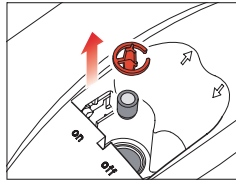
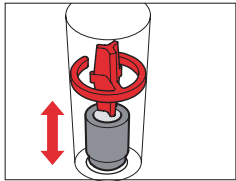
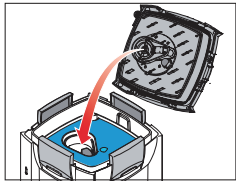
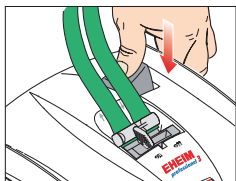
⑤ろ材を流水で軽く洗います。

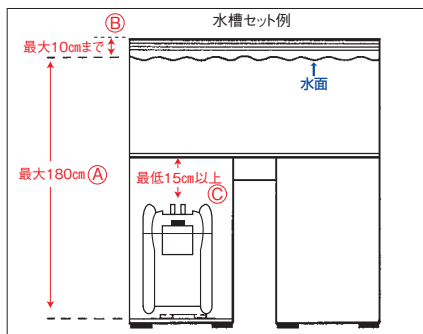
⑥フィルターケース内の汚れ等を洗い出し、フィルターケース内を空の状態にします。

⑦ろ材の量はセットの手順、点検･お手入れ～ろ材のセットを参照して、補充、交換を行ってください。

⑧洗浄前と同じ順番でフィルターケース内に、ろ材コンテナ、細目フィルターパッド（ホワイト）、ろ材固定盤をセットします。
※細目フィルターパッド（ホワイト）は飼育条件によりますが、1ヶ月に1度が交換の目安です。

⑨プレフィルターコンテナをフィルターケース内に戻します。この際、パーティションパイプ（イラスト内黄色矢印）が合うように向きに注意して入れてください。

⑩逆流防止弁は必ず上に開閉する機能です。開閉の向きを確認してください。

⑪プレフィルターOリング、フィルターケースOリングに汚れ等が付着していましたら、きれいに掃除をしてエーハイムワセリンを塗布してください。

⑫モーターヘッドをフィルターケースに取り付けます。セットの手順、点検･お手入れ～モーターヘッドの装着を参照してください。

⑬ホースアダプターを取り付け（ホースアダプターのセットを参照）、呼び水レバーをおして水を呼びこみます。

Ⅸ インペラー部分の掃除

①電源プラグをコンセント（100V）より抜きます。

②シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出し、モーターヘッドを取り外します。

③ポンプカバーを左に回して外します。

④ラジオペンチ等でインペラー部を取り出します。

⑤インペラーやその周りの部分には、エーハイムインペラーブラシを使用して水アカやゴミを取り除きます。

⑥分解したインペラー、スピンドル、スピンドルラバーをセットする時は、マグネット部分を左右に回してスムーズに動く事を確認してください。

⑦掃除が終わりましたら、同様にラジオペンチ等でインペラーを元の位置に戻します。

⑧ポンプカバーを右に回しながら取り付けます。

Ⅹ フロートの掃除

①電源プラグをコンセント（100V）より抜きます。

②シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出し、モーターヘッドを取り外します。

③ラジオペンチ等でブラケット、フロートを取り出し良く洗います。

④洗浄が終わったブラケットとフロートは元の状態にセットします。

⑤モーターヘッドをフィルターケースに取り付けます。セットの手順、点検･お手入れ～モーターヘッドの装着を参照してください。

⑥ホースアダプターを取り付け（ホースアダプターのセットを参照）、呼び水レバーをおして水を呼びこみます。

パッケージの中をご確認ください

【2074】 ※ろ材付きのスターターセット

エーハイムフィルター2074
ホースクランプ
クッションラバー×4
プレフィルター用粗目パッド×1
プレフィルターコンテナ
ろ材コンテナカバー
細目パッド×1
ろ材コンテナ×3
オーバーフローパイプ×1
吸水パイプ×1
止水栓×1
ストレーナー×1
シャワーパイプ×1
電源アダプター×1
電源コード×1
吸排水ホース
クリップ×4
吸着盤×4
サブストラットプロ レギュラー×1.5ℓ
バイオメック×1.5ℓ
メックプロ×1.5ℓ

設置場所/セット時のご注意

●フィルターは、傾けて使用したり、寝かせて使用せず垂直にした正しい位置でご使用ください。

●エーハイムフィルターのモーターヘッドの上の部分が水面より10cm以上低くなるように置く場所を決めます。ただし、図のように高低差が最大180cm以内Ⓐになるようにセットしてください。なお水槽の横にセットされる場合、呼び水レバーによる呼び水機能を確実にするため、水槽上縁から水面までの高低差は最大で10cmⒷまでとしてください。2074本体の高さは約40cmですが、ホースの脱着やメンテナンス時の利便性を配慮して最低でもキャビネット内天板と15cm以上Ⓒの空間を上部に確保してください。

●同梱のホースが設置場所によっては足りなくなる場合がございます。エーハイム純正ホース(4005940：φ16／22mm)をご使用ください。

●ストリームファンクション(パルス機能)や12時間バイオファンクションをセットした時は、クーラーや底面フィルター、スポンジプレフィルター、殺菌灯等との接続は流量が変化しますのでご注意ください。特にストリームファンクション(パルス機能)セット時にはクーラーは別の駆動フィルター/ポンプで稼動させる事をお勧めします。

●ディフューザーの接続使用は出来ません。

●ストリームファンクション(パルス機能)や12時間バイオファンクションでは水流(量)が変化します。水槽サイズはセットした最大流量に合わせてお選びください。例:ストリームファンクションでの最大流量は1500ℓ/h(ポンプ流量)です。

●最初のフィルターセットの時の流量(工場出荷時)は約1000ℓ/h(ポンプ流量)にセットされております。シャワーパイプの向きなどにご注意ください。

●1日に一度、自動流量検知(Auto Calibration)の機能が働きます。この時の流量は、約1000ℓ/h(ポンプ流量)まで増えます。時間は約1分。この事を考慮して水槽サイズをお選びください。
例 流量表示ランプ1個のコンスタントフロー(600ℓ/h(ポンプ流量))で作動をしているとき。1日に一度約1000ℓ/h(ポンプ流量)まで増えます(約1分間)。

●水流が強過ぎる場合は、下記の方法で水流を弱めることができます。特に、最初の水槽セット時や1日1回の自動流量検知(Auto Calibration)は、約1000ℓ/h時の水量が一時的に出ますので、60cm水槽等でご使用の場合は、ご注意ください。
＊シャワーパイプを使用せず、オーバーフローパイプより直接水を出す。この場合水流(オーバーフローパイプ)の方向は水槽の右または左側より反対側に向ける。
＊シャワーパイプの穴をナイフ等で大きくする。
●電源のON / OFFは、電源プラグの抜き差しで行ってください。

ご注意:
＊シャワーパイプを使用する場合は、止水栓は必ずきっちりと取り付けてください。
＊シャワーパイプをガラス面に向けて水流を弱める方法は、セット時や自動流量検知時に、砂の舞い上がりや波立ちが起こることも考えられますのでお勧めできません。
＊粒の細かいソイル、砂をご使用される場合は、舞い上がりにご注意ください。

本製品の特徴(“便利な機能”)

アウトプットコントロール(排水量制御)

最低の排水量(600ℓ/h(ポンプ流量))から最大の排水量(1500ℓ/h(ポンプ流量))まで、希望する流量(コントロールパネルの流量表示ランプ単位)をセットできます。最大流量のターボ排水は、他社製の類似フィルターに大きな差を付けています。これにより、対応する水槽サイズのレンジが広くなり、たとえ水槽サイズを替えてもこの1台で対応できます。また、専門的になりますが、生物ろ過のスピードをコントロールできます。

コンスタントフロー(クルーズコントロール)

ろ材の汚れによって流量が低下するとそれを感知して、設定した流量が維持できるように、自動的にインペラーの回転数を電子制御します。これにより長期にわたって流量の低下を気にせずに済み、ろ材を洗浄するインターバルを長くすることができます。

ストリームファンクション(パルス機能)

10秒の間隔で、流量の強(1500ℓ/h(ポンプ流量))、弱(600ℓ/h(ポンプ流量))を繰り返す機能です。熱帯魚、水草、海水魚、海洋無脊椎動物などが生息する自然環境を模した水流を再現することができます。一度セットすると継続的に運転します。
ご注意:最大流量(1500ℓ/h(ポンプ流量))時の水流の強さ(ろ材、使用環境により異なります)を考慮に入れて、水槽サイズを決めご利用ください。小さな水槽では最大流量時に水が飛び出す事が考えられます。アクセサリー、他の器具との接続はセット時のご注意をご覧になりセットしてください。

12時間バイオファンクション(12時間ごとの排水量の自動切り替え)

例えば、水草レイアウト水槽の場合など、昼間は緩やかな水流に、夜間は強めの水流にセットすることができます。具体的には、昼間の午前7時より午後7時までの希望流量(ポンプ流量)、夜間の午後7時より翌朝の午前7時までの希望流量(ポンプ流量)。飼育されている魚や生き物に合わせた水流の調整を簡単に行うことができます。一度セットすると継続的に運転します。
ご注意:セットした強めの水流の時に、水槽より水がこぼれないかご注意ください。
アクセサリー、他の器具との接続はセット時のご注意をご覧になりセットしてください。

サービスインディケーター

コントロールパネルに触ることにより、マイクロプロセッサが自動的に次のろ材の洗浄時期を表示します。
一つのグリーンライトが1ヶ月を示します。掃除の時期を気にすることなく飼育が可能です。

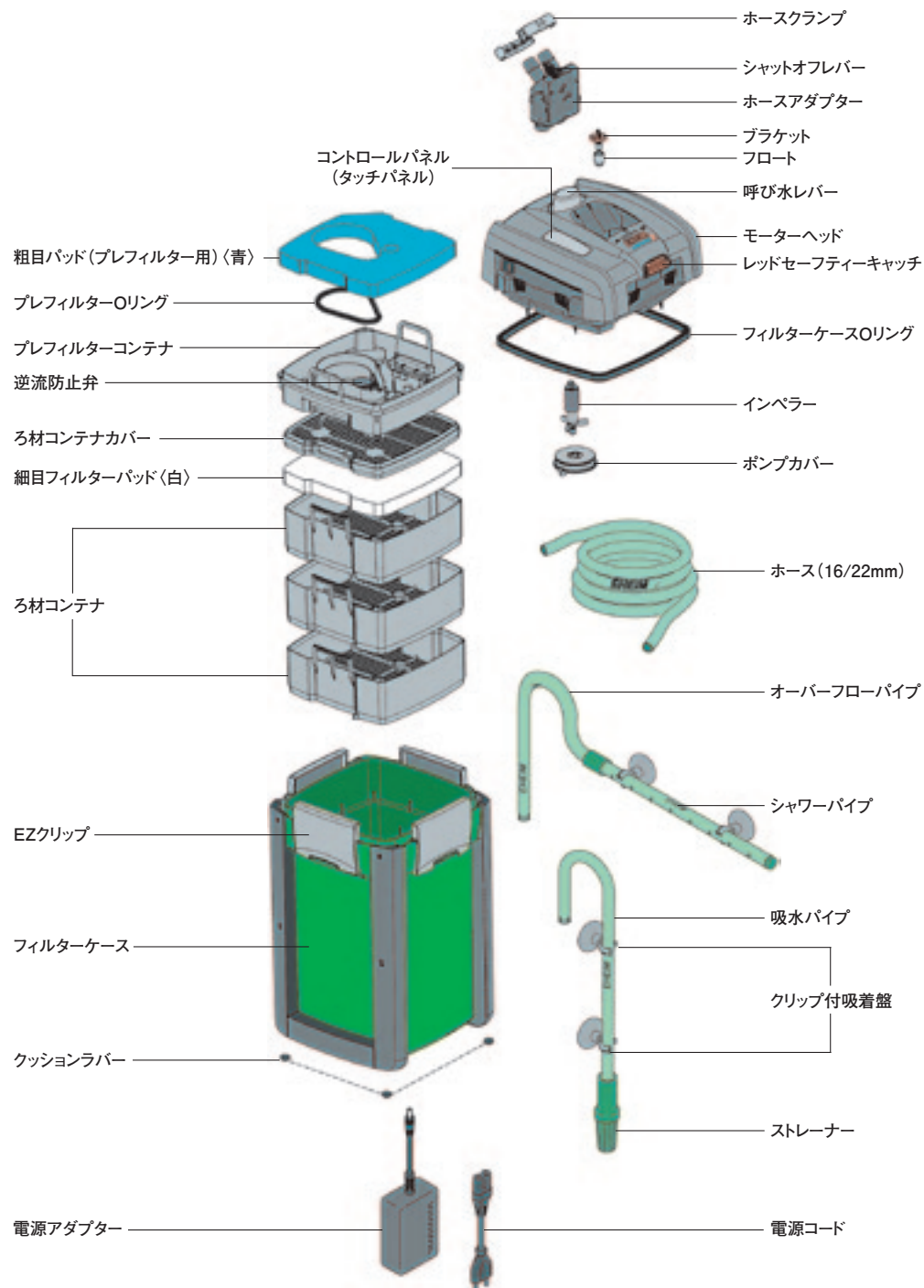
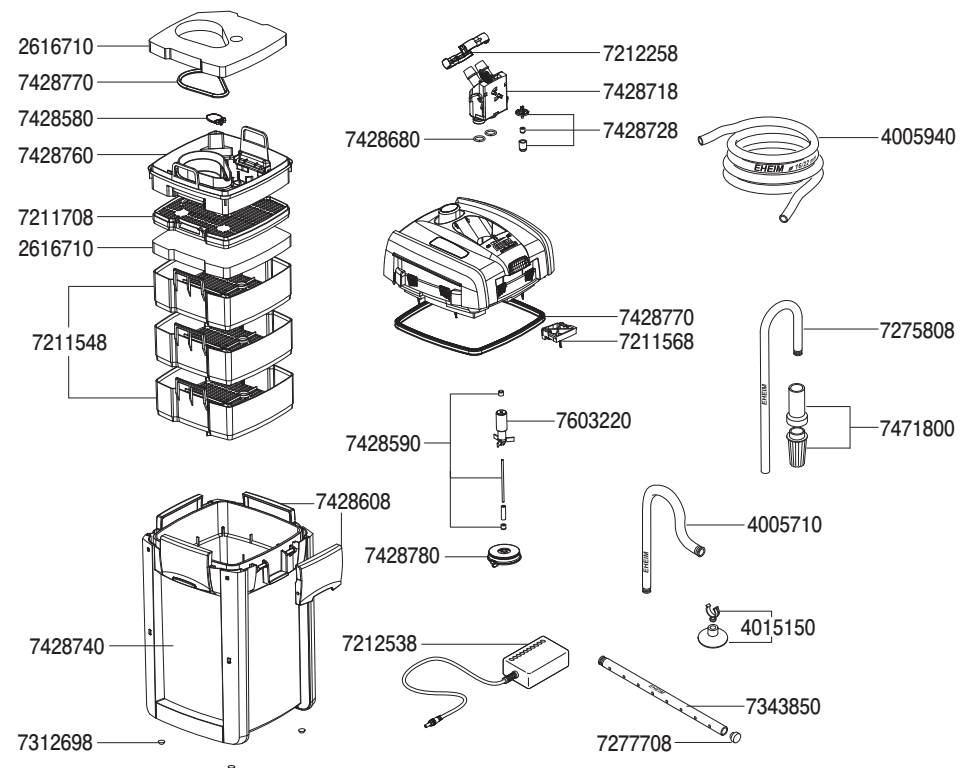
自動エアー排出機能

インペラー付近にエアーがたまった場合(いわゆるエアーがみ)、自動的に解消してくれます。
自己(フィルター自身)解決できない場合はエラーインディケーターが赤く点灯して、その旨の表示をします。
セット時、再セット時に、インペラー付近に少々エアーがたまっても自動的に排出され、通常運転を行います。

エラーインディケーター

フィルター本体に何か起こった場合は、自動的にフィルターをテストして、自己(フィルター自身)解決ができない場合は、その旨をコントロールパネルに表示します。

2074 各部の名称

ホースクランプ
シャットオフレバー
ホースアダプター
ブラケット
フロート
コントロールパネル（タッチパネル）
呼び水レバー
モーターヘッド
レッドセーフティーキャッチ
粗目パッド（プレフィルター用）〈青〉
プレフィルターOリング
プレフィルターコンテナ
フィルターケースOリング
逆流防止弁
インペラー
ろ材コンテナカバー
ポンプカバー
細目フィルターパッド〈白〉
ホース（16/22mm）
ろ材コンテナ
オーバーフローパイプ
シャワーパイプ
EZクリップ
吸水パイプ
フィルターケース
クリップ付吸着盤
クッションラバー
ストレーナー
電源アダプター
電源コード

2074 主要部品図

モーターヘッド部

エーハイムコード	品　名
7211568	モーターヘッド止水カバー
7212258	ホースクランプ
7428680	ホースアダプター用Oリング
7428718	ホースアダプター
7428728	フロートセット
7428770	Oリングセット
7428780	ポンプカバー
7428590	スピンドル/ラバー
7603220	インペラー
7212538	電源アダプター

専用フィルターパッド一別売

エーハイムコード	品　名
2616710	フィルターパッドセット ・粗目パッドプレフィルター用1枚 ・細目パッド4枚入
2628710	交換用活性炭フィルターパッド（3枚入り）

フィルターケース部

エーハイムコード	品　名
7211548	ろ材コンテナ
7211708	ろ材コンテナカバー
7312698	クッションラバー
7428580	逆流防止弁
7428608	EZクリップ
7428740	フィルターケース（サイドカバー付き）2074用
7428760	プレフィルターコンテナ

吸・排水部

エーハイムコード	品　名
4005710	オーバーフローパイプ
4005940	ホース（16/22mm）
4015150	クリップ付き吸着盤
7275808	吸水パイプ
7277708	止水栓
7343850	シャワーパイプ
7471800	ストレーナー

“エーハイムコントロールセンター”についての説明
（EHEIM Control Center）

（エーハイム プロフェッショナル3e 2074、2076、2078）

●製品パッケージ正面真ん中より少し下に丸い囲みで “EHEIM Control Center” の表示が見られます（写真A）。これは、2074、2076、2078が持っている“便利な機能”の内のいくつかを、パソコン（専用ソフトをダウンロード）とフィルターを別売の専用USBケーブルで接続して、その機能を自分の希望するタイプに変更することができる機能です（パッケージ左側側面にも説明）。
現在この専用ソフトが日本で正しく作動出来るかどうか判明しておりません。別売の専用USBケーブル（専用ソフト付）の発売は作動確認後となります。詳しくは弊社ホームページ>新着情報をご覧ください。（http://www.eheim.jp）

●2074、2076、2078が持っております“便利な機能”はそのまま使用できます。
“エーハイムコントロールセンター”は新に追加された機能です。

●カバー（黒色のキャップ）の下は専用USBケーブルの差し込み口になっております（写真B）。
カバーをはずしたり、差し込み口に異物を差し込んだりするような行為は決してなさらないようにお願い申し上げます。またこれらの行為により何か不具合が生じましても弊社は責任を持ちませんのでご注意ください。

ご注意:同梱の注意書き（ピンク色のシート）をご覧ください。
最新の情報は弊社ホームページに掲載されておりますのでご注意下さい。

プロフェッショナル3e 2074パッケージ写真

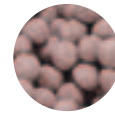
写真A

側面、モーターヘッド部分

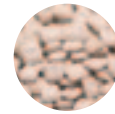
写真B

2074 同梱ろ材/別売交換用パッドセット

プロフェッショナル3e 2074は、粗目パッド、細目パッド、サブストラットプロ レギュラー、バイオメック、メックプロが同梱されたスターターキットです。

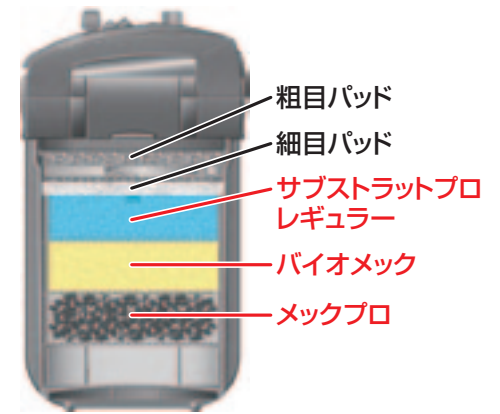
サブストラットプロ レギュラー

物理ろ過／生物ろ過用ろ材

汎用性が高く、生物ろ過と物理ろ過の両方をこなすには最適な万能サイズ。

バイオメック

物理ろ過／生物ろ過用ろ材

中央のくぼみがゴミのこし取りを確実にします。
多孔質構造なのでバクテリアの着床に最適で、バクテリアコロニーを形成するのに最適な条件です。
淡水海水両用　pH調整済み

メックプロ

軽くて取扱いが簡単。
特殊プラスチックにほどこしたユニークな形状がゴミをこしとる（物理ろ過）作業を効率的にかつ確かなものにします。小さなゴミも逃さず、表面の隆起はバクテリアの着床にも適しております。
淡水海水両用

※メックプロの販売は行っておりません。
お取替の際は、エーハイムメック又はエーハイム バイオメックをご利用ください。

エーハイム プロフェッショナル3e 2074 パッド

（2071、2073、2075 と共通）

▲パッケージ

セット内容
細目パッド４枚
粗目パッド１枚

エーハイムコード：2616710

細目×４枚　　粗目×１枚

サブストラットプロ・レギュラー

▲直径
6〜11mm

内容量

5ℓバッグ	:2519000
5ℓ化粧箱入り	:2510751
1ℓ	:2510061

エーハイムメック

▲直径(外寸)
約9〜12mm
長さ
約9〜13mm

内容量

5ℓバッグ	:2519003
5ℓ化粧箱入り	:2507751
1ℓ	:2507061

エーハイム バイオメック

▲約15x15x7mm(H)
両面に約3mmのくぼみ

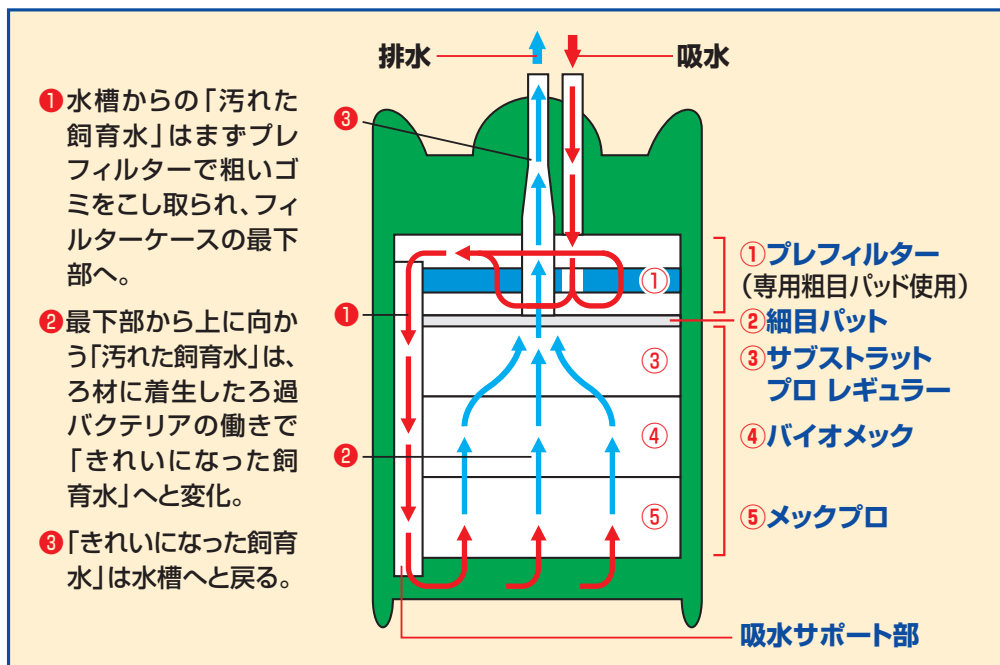
内容量

5ℓバッグ	:2519008
1ℓ	:2508051

2074 内部の水流の模式図

❶水槽からの「汚れた飼育水」はまずプレフィルターで粗いゴミをこし取られ、フィルターケースの最下部へ。

❷最下部から上に向かう「汚れた飼育水」は、ろ材に着生したろ過バクテリアの働きで「きれいになった飼育水」へと変化。

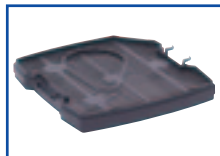
❸「きれいになった飼育水」は水槽へと戻る。

従来の外部式フィルターでは、すべてのろ材を取り出してから掃除を行っていました。

ところが**エーハイムプロフェッショナル3e** 2074では、これまでの外部式フィルターとは異なり、フィルターケースの最上部にプレフィルターがセットされています。そのため、他のろ材には手を付けることなく、プレフィルターだけを簡単に取り出して洗浄することができます。

このように、エーハイム2071/2073/2074/2075/2076/2078/2080はプレフィルターでゴミを取り除くため、大きなゴミが直接ろ材へ進入することを防ぎ、**ろ材の掃除(メンテナンス)のインターバルが長くなります。**

【プレフィルターコンテナ】

フィルターケースにセットされたろ材コンテナ最上部がプレフィルターコンテナなので、小規模な掃除の際にはプレフィルターコンテナだけを簡単に取り出せます。

【ろ材コンテナカバー】

ろ材の入ったろ材コンテナにセットして、コンテナごと流水で洗浄することが出来ます。

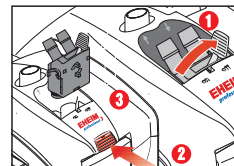
【呼び水レバー】

呼び水レバーを押すことにより、フィルターケース内に呼び水をすることができます。

【吸水サポート部】

プレフィルター専用粗目パッドを透過して、まずは粗いゴミをこし取られた「汚れた飼育水」は、ここからフィルターケース最下部へと導かれます。

セットの手順、点検・お手入れ

全ての作業は電源プラグをソケット/コンセントより抜いて(はずして)作業してください。

I モーターヘッドの取り外し/ろ材のセット

❶ホースアダプターの取り外し

❶シャットオフレバーを「OFF」の位置にする
❷レッドセーフティキャッチを押す
❸ホースアダプターを外す(真上方向)

❷モーターヘッドの取り外し

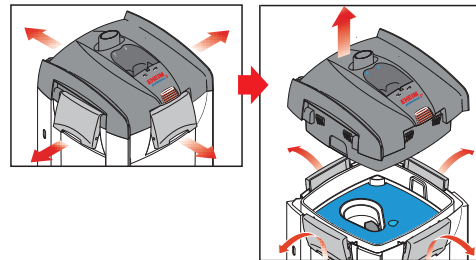
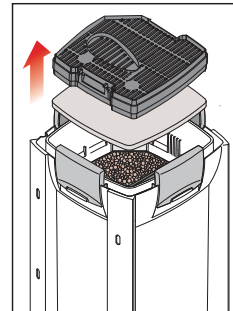
フィルターケースの側面4箇所にあるEZクリップを解除し、モーターヘッドを取り外します。

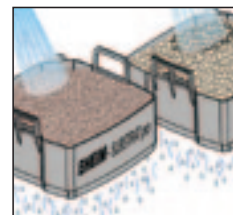
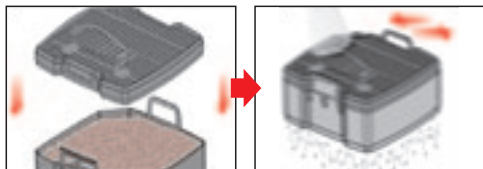
❸フィルターケースからろ材コンテナの取り出し

フィルターケースの中から、プレフィルターコンテナ、ろ材コンテナを全部取り出します。

ろ材コンテナには取っ手がついているのでここを持つようにして下さい。

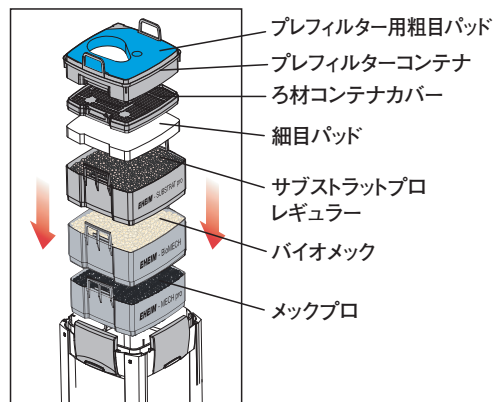
なお、最上段のろ材コンテナにはろ材コンテナカバーが付いた状態となっています。

❹プレフィルターコンテナ
❸~❶ ろ材コンテナ

❹ろ材の洗浄

初めに、最上段に入っていたろ材コンテナについているろ材コンテナカバーを外します。
またろ材の上にある細目パッドを取り出します。

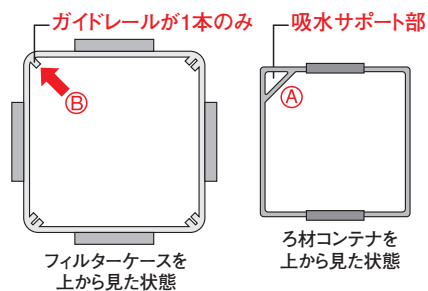
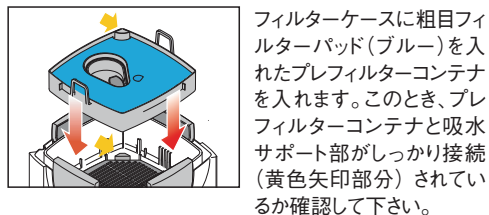
サブストラットプロレギュラーとバイオメックは、ビニール袋に入った状態でろ材コンテナに入っていますので、ビニール袋からだしてろ材コンテナに入れ直します。

ろ材コンテナにろ材が入った状態のままで、流水で濁り水が出なくなるまで十分に洗浄します。

その後、ろ材の入ったろ材コンテナに取り出しておいた細目パッドを乗せてろ材コンテナカバーを取り付けます。この状態で流水の下でろ材コンテナを動かして、再度洗浄します。

（ご注意：　細目パッドをろ材に乗せずにろ材コンテナカバーを取り付けると隙間が出来て、ろ材コンテナを動かして洗浄した時にろ材の崩れが発生する場合がありますので、必ず細目パッドを入れてください）

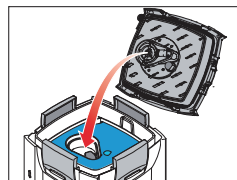
この作業を全ての各ろ材コンテナについて行います。

❺ろ材コンテナ／ろ材のセット（フィルターケースに入れる）

フィルターケース内の一番下にエーハイムメックプロの入ったろ材コンテナを入れます。
次にエーハイムバイオメックの入ったろ材コンテナを続けて入れます。
最後にサブストラットプロレギュラーが入ったろ材コンテナに細目パッドを乗せ、ろ材コンテナカバーを付けた状態のろ材コンテナを続けて入れます。

ご注意: 別売りの専用活性炭パッド（エーハイムコード2628710、1箱3枚り）を合わせてご使用になる場合は、最上段ろ材コンテナ内の細目パッドの下になる様に重ね入れてご使用下さい。

ろ材コンテナセット時のご注意

ろ材コンテナの吸水サポート部Ⓐが上図の矢印部Ⓑの向きになる様にフィルターケース内へセットします

❻プレフィルターコンテナのセット

フィルターケースに粗目フィルターパッド（ブルー）を入れたプレフィルターコンテナを入れます。このとき、プレフィルターコンテナと吸水サポート部がしっかり接続（黄色矢印部分）されているか確認して下さい。

❼モーターヘッドの装着

フィルターケースにモーターヘッドを装着します。このとき、Oリングによじれがないか、異物がひっかかったり挟まったりしていないか、などをよくチェックし、モーターヘッドとフィルターケースがしっかり密着したことを確認してから、EZクリップを確実にロックするようにして下さい。

Ⅱ 吸水部と排水部のセット

❶クリップと吸着盤のセット

同梱のクリップと吸着盤をイラストの様にセット（4個）します。

❷吸水部のセット

吸水パイプとストレーナーを接続し、水槽壁面にクリップ付吸着盤で取りつけます。
水槽フレームにより吸水パイプが傾いてしまう場合は、別売りのアーム(4004560)をご使用下さい。また水槽フレームの巾が大きすぎて吸水パイプがセットできない場合は、下図の矢印部をカットしてホースを接続して下さい。カット部はケガをしないように、処理して下さい。
折れ曲がる場合にはエルボーコネクターをご使用下さい。
吸水パイプが長い場合、底砂から5cm以上の位置を目安にカットしてご使用下さい。

❸排水部のセット

イラストのようにオーバープローパイプとシャワーパイプを接続用ホースによって接続し、止水栓をセットしてから、クリップ付吸着盤で取り付けます。

シャワーパイプの排水穴の位置

図のように、排水パイプの排水穴を下部に向けたり、水平にすることにより、水面の動きを希望通りに調整できます。

呼び水はシャワーパイプを水面より上にセットします。
呼び水完了後にはシャワーパイプを好みの位置にします。

Ⅲ 吸水ホースと排水ホースの取り付け

❶ホースのカット

吸水と排水のホースは、折れ曲がりやたわみが無いように吸水パイプ、シャワーパイプに合わせてカットします。カットする際はホースの切り口が斜めにならないよう、まっすぐに切ってください。
※折れ曲がったホースは温水に浸すことで柔らかくなり、折れ曲がりが矯正されます。

ホースの切り口

❷ホースをホースアダプターに取り付け

本体正面（ホースアダプターをモーターヘッドにセットした状態）より向かって右側に吸水、左側に排水、それぞれのホースを根元までしっかりと差し込みます。イラストのホースの中の矢印は水流を示し、赤い矢印はホースをアダプターに差し込むことを示しています。この作業はフィルター本体からホースアダプターを取り出した状態で行うことも可能ですが、くれぐれも吸水側、排水側の差し込み違いにご注意ください。

❸ホースクランプの取り付け

ホースアダプターに取り付けたホースの付け根の部分に、ホースクランプをしっかりと確実に固定します。

Ⅳ ホースアダプターのセット

ホースアダプターをモーターヘッドに装着するには、「カチッ」と音がするまで、ゆっくりしっかりと確実にはめ込みます。
この時、シャットオフレバーは必ず「OFF」の位置にして下さい。レッドセーフティキャッチにはさわらないで下さい。

ホースアダプターのシャットオフレバーを「ON（開く）」の方向にいっぱいまで傾けます。これでホースアダプターがモーターヘッドにロックされると同時に、吸水口と排水口が完全に開放されます。
シャットオフレバーが「ON」の位置に移動しない場合は無理をせず、ホースアダプターを外し、もう一度装着し直して下さい。

Ⅴ 呼び水のしかた

必ずシャットオフレバーが「ON」の位置になっていることを確認して下さい。
クーラーなどの接続機器がある場合はそれら全ての機器内の水も抜いておきます。
またこの時、シャワーパイプは水面より上にセットします。
電源を切った状態で、呼び水レバーをしっかりと奥まで数回押し込みます。するとフィルターケース内に水槽から水が導かれます。そして、排水ホースの中の水が水槽の水位と同じまで上昇し、フィルターケースが満水になったことが確認できましたら、シャワーパイプをお好みの位置に移動します。
次は電源を入れるステップⅥになります。

Ⅵ 電源の入れ方～作動確認

❶電源アダプターをモーターヘッドの受け口に差し込みます。

フィルターケース内が満水になっていることを確認します。
電源アダプターをモーターヘッドの受け口に差し込みます。
この時、電源アダプターと電源コードは接続しない状態です。

❷電源アダプターと電源コードを接続します。

この時、電源プラグはコンセント（100V）には接続しない状態です。

❸電源プラグをコンセント（100V）に差し込みます。

モーターヘッド/インペラーが作動してインペラー周りのエアーを掃きだす作業を繰り返します（この際、呼び水レバーを2～3回押すと通常よりも速くエアーが掃きだされます）。
インペラー周りのエアーが掃きだされると水が勢いよく出てきます。
なお、フィルター本体を作動させてから30分ほどの間は、正常に作動しているか、また、各部に水漏れはないかを必ずチェックして下さい。

❹流量調節についてはP38のアウトプットコントロール（流量の調節）を参照にご希望の水流調節を行なってください。

❺この段階で水流を止めたい場合はコンセント（100V）に差し込んでいる電源プラグを抜いてください。

Ⅶ プレフィルターコンテナの掃除

もっとも汚れやすいプレフィルター部分は、飼育条件を考慮して定期的に掃除してください。

❶電源プラグをコンセント（100V）より抜きます。

❷シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出します。

❸モーターヘッドの取り外し

フィルターケースの側面4箇所にあるEZクリップを解除し、モーターヘッドを取り外します。

❹プレフィルターコンテナを取り出します。

❺粗目フィルターパッド（ブルー）を取り出します。

❻ 粗目フィルターパッド（ブルー）を水洗いします。

❼ プレフィルターコンテナの中に溜まったゴミや砂等を水で洗い出します。

❽ 水で洗った粗目フィルターパッド（ブルー）を再びプレフィルターコンテナにセットします。
※粗目フィルターパッド（ブルー）は飼育条件によりますが、6ヶ月に1度が交換の目安です。

❾ プレフィルターコンテナをフィルターケース内に戻します。この際、吸水サポート部（イラスト内黄色矢印）が合うように向きに注意して入れてください。

❿ 逆流防止弁は必ず上に開閉する機能です。
開閉の向きを確認してください。

⓫ プレフィルターOリング、フィルターケースOリングに汚れ等が付着していましたら、きれいに掃除をしてエーハイムワセリンを塗布してください。

⓬ モーターヘッドをフィルターケースに取り付けます。セットの手順、点検・お手入れ～モーターヘッドの装着を参照してください。

⓭ ホースアダプターを取り付け（ホースアダプターのセットを参照）、呼び水レバーを押して水を呼びこみます。

Ⅷ ろ材の洗浄

❶ 電源プラグをコンセント（100V）より抜きます。

❷ シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出し、モーターヘッドを取り外します。

❸ 次にプレフィルターコンテナ及びろ材コンテナを全て取り出しますが、最上段ろ材コンテナ内で使用している細目パッドは、ご飼育状況によりますが1ヶ月に1度の交換が目安となります。細目パッドは揉み洗い等の洗浄を行うと、へたりなどの劣化を促進する事になります為、洗浄は行わずに交換のみとなります。

❹ ろ材コンテナを順番に取り出します。

❺ ろ材を流水で軽く洗います。

❻ フィルターケース内の汚れ等を洗い出し、フィルターケース内を空の状態にします。

❼ 洗浄前と同じ順番でフィルターケース内に、ろ材コンテナ、細目フィルターパッド（ホワイト）、ろ材コンテナカバーをセットします。
※細目フィルターパッド（ホワイト）は飼育条件によりますが、1ヶ月に1度が交換の目安です。

❽ プレフィルターコンテナをフィルターケース内に戻します。この際、吸水サポート部（イラスト内黄色矢印）が合うように向きに注意して入れてください。

❾ 逆流防止弁は必ず上に開閉する機能です。
開閉の向きを確認してください。

❿ プレフィルターOリング、フィルターケースOリングに汚れ等が付着していましたら、きれいに掃除をしてエーハイムワセリンを塗布してください。

⓫ モーターヘッドをフィルターケースに取り付けます。セットの手順、点検・お手入れ～モーターヘッドの装着を参照してください。

⓬ ホースアダプターを取り付け（ホースアダプターのセットを参照）、呼び水レバーをおして水を呼びこみます。

Ⅸ インペラー部分の掃除

❶電源プラグをコンセント（100V）より抜きます。

❷シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出し、モーターヘッドを取り外します。

❸ポンプカバーを左に回して外します。

❹ラジオペンチ等でインペラー部を取り出します。

❺インペラーやその周りの部分には、エーハイムインペラーブラシを使用して水アカやゴミを取り除きます。

❻分解したインペラー、スピンドル、スピンドルラバーをセットする時は、マグネット部分を左右に回してスムーズに動く事を確認してください。

❼掃除が終わりましたら、同様にラジオペンチ等でインペラーをを元の位置に戻します。

❽ポンプカバーを右に回しながら取り付けます。

Ⅹ フロートの掃除

❶電源プラグをコンセント（100V）より抜きます。

❷シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出し、モーターヘッドを取り外します。

❸ラジオペンチ等でブラケット、フロートを取り出し良く洗います。

❹洗浄が終わったブラケットとフロートは元の状態にセットします。

❺モーターヘッドをフィルターケースに取り付けます。セットの手順、点検・お手入れ～モーターヘッドの装着を参照してください。

❻ホースアダプターを取り付け（ホースアダプターのセットを参照）、呼び水レバーをおして水を呼びこみます。

故障かな?と思ったら（2074/2076/2078共通）

● モーターヘッドをフィルターケースに装着することができない（EZクリップにて閉めることができない）

原　　因	処　置　方　法
フィルターケース内に入れるものが間違って入っている。	正しく入れ直す。
ろ材などが入り過ぎている。	ろ材を適正な量に調整する。
プレフィルターコンテナとパーテイションパイプが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。
Oリングが正しく収まっていない。	Oリングを正しい位置にセットし直す。 また、水漏れの原因となるので Oリングの劣化、破損、傷も合わせてチェックする。

● モーターヘッドとフィルターケースの間での水漏れ

原　　因	処　置　方　法
EZクリップが正しくロックされていない。	4つあるEZクリップそれぞれを正しく確実にロックする。
OリングやOリングが噛み合う溝などが汚れていたり異物を挟んでいる。	汚れや異物を取り除き、Oリングの劣化、破損、傷も合わせてチェックする。 Oリング保護のためのエーハイム ワセリン（7345988）を塗布する。
Oリングがしっかりと収まっていなかったり、 劣化、破損しており水密効果を失っている。	正しい位置にセットし直す。 もし劣化、破損していればOリングを交換する。

● モーターが動かない

原　　因	処　置　方　法
電源が入っていない。	プラグをコンセントに差し込む。
スピンドル又はインペラーの折損。	スピンドル又はインペラーを交換する。
インペラーがセットされていない。 あるいはインペラーが砂粒や貝などでロックされている。	インペラーをセットする。 インペラーがロックする原因を取り除く。

● シャットオフレバーがひっかかる

原　　因	処　置　方　法
シャットオフレバーの動きがきつくなっている。	シャットオフレバーの可動部と白いバルブに エーハイム ワセリン（7345988）を塗布し、 数回動かして滑らかに動くようにする。

● 呼び水ができない

原　　因	処　置　方　法
プレフィルターコンテナ内の逆流防止弁の破損。	逆流防止弁を交換する。
プレフィルターコンテナに水が入っている。	プレフィルターコンテナに水が入っていると呼び水できないので、 プレフィルターコンテナから水を抜いて再度呼び水をする。
フロートセットが正しくセットされていない。	フロートセットを正しくセットする。
シャワーパイプが水中にセットされている。	シャワーパイプを水面より上にセットする。
クーラー、殺菌灯など接続機器がある。	接続機器内の水を抜いてから呼び水を行う。

● 流量の大幅な低下

原　　因	処　置　方　法
シャットオフレバーが正しい位置「ON」にセットされていない。	正しい位置にセットする。
ホースアダプターの内部が汚れている。	ホースアダプターの内部を排水口や吸水口から パイプクリーナー（4005551）を使ってよく洗浄する。
ホースが折れたりつぶれたりしている。	ホースの折れた個所やつぶれた個所を整復する。
ホースの内部がひどく汚れたり詰まったりしている。	ホースクリーナー（4006570）を使ってホースの内部をよく洗浄する。
ストレーナーがゴミなどで詰まっている。	ストレーナーを掃除してゴミを除去する。
ろ材やろ材コンテナーなどが汚れている。	ろ材やろ材コンテナーなどを洗浄して汚れを除去する。
サブストラットプロをネットバッグに入れてからろ材コンテナに入れた。	ネットバッグを使用しない。
間違ったろ材を使用している。	正しいろ材に入れ替える。
ろ材の配置の順番が間違っている。	正しい順番に直す。 （2076/2078はP10～11参照、2074はP24～26参照）
細目フィルターパッドの入れ方を間違っている。	細目パッドはろ材コンテナの正しい位置にセットする。
フィルターパッドが汚れている。	フィルターパッドを洗浄するか新品と交換する。細目パッドは交換のみ。
モーターヘッドのインペラー挿入部やインペラーなどが汚れている。	掃除する。（2076/2078はP16参照、2074はP32参照）
ホースやろ材などが汚れていないにもかかわらず流量が著しく低下した。	各種アクセサリー、その他の器具（殺菌灯、クーラー、 サブフィルター等）等を多数使用すると水流が弱くなります。

● フィルター内に空気が残っている／入っている

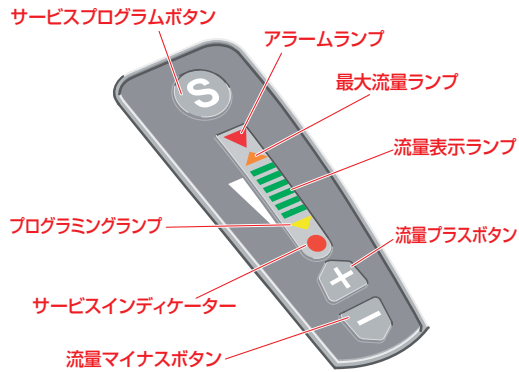
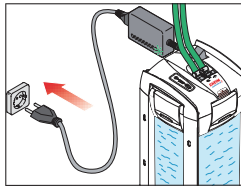
原　　因	
設置場所。	最低でもその本体上端が水槽の水位より 10cm下になるように設置する。理想的には水槽の下に設置する。
ホースから空気を吸い込んでいる。（ホースとパイプ等の接続部）	ホースの接続部をすべてチェックする。
ディフューザーからの微細な気泡を吸い込んでいる。	ディフューザーの設置位置を変えてフィルターが 気泡を吸い込まないようにする。 またはディフューザーの使用をやめる。
ろ材やろ材コンテナなどがきわめて汚れている。	ろ材やろ材コンテナなどを洗浄して汚れを除去する。
サブストラットプロをネットバッグに入れてからろ材コンテナに入れた。	ネットバッグを使用しない。
ストレーナー近くでエアレーション（エアポンプ）している。	エアーがストレーナーに入らないよう、遠ざけて下さい。

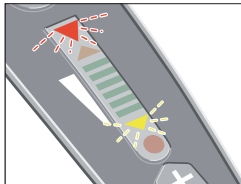
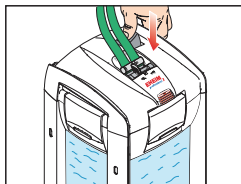
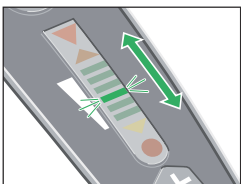
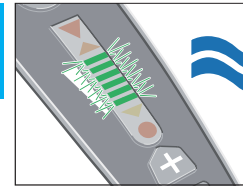
※上記に該当しない場合は、エーハイム販売店またはエーハイムサービスセンターにご相談下さい。

ご注意!

1. 品質向上等のため、予告なく仕様を変更することがあります。
2. 誤ったご使用方法に起因する損害につきましては責任を負いかねます。
3. 飼育されている魚など生体の病気や死亡、水草の枯れに対する補償は致しかねます。予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

各種機能（流量調節等）操作/設定（2074/2076/2078共通）

コントロールパネル（タッチパネル）の説明

表示ランプと流量の目安		2074	2076/2078
流量表示ランプ	1個点灯	約600ℓ/h	約780ℓ/h
	2個点灯	約680ℓ/h	約890ℓ/h
	3個点灯	約760ℓ/h	約1000ℓ/h
	4個点灯	約840ℓ/h	約1120ℓ/h
	5個点灯	約920ℓ/h	約1240ℓ/h
	6個点灯	約1000ℓ/h	約1350ℓ/h
流量表示ランプ 6個点灯 + 最大流量ランプ 点灯		約1350ℓ/h	約1600ℓ/h
流量表示ランプ 6個点灯 + 最大流量ランプ 点灯 + プログラミングランプ 点灯		約1500ℓ/h	約1850ℓ/h

フィルターのセットが完了しましたら、電源プラグをコンセント（100V）に差し込みます。

本フィルターを初めてセットする場合（以下の説明は、初めてセットするときの行程です。2回目以降は別の設定となりますので次ページを参照してください。）

❶電源を入れる（電源プラグをコンセントに差込む）と、アラームランプとプログラミングランプが点滅して、インペラー周りの自動エアー排出機能（エアーを自動的に検知、排出）がスタートします。この作業に数分かかる場合があります。

❷インペラー周りのエアーの排出がされているときに、呼び水レバーを数回押すとエアー排出の時間短縮ができます。

❸インペラー周りのエアーの排出が終わると、水の循環が始まります。この時自動測定機能が働き、流量表示ランプが上下に点滅移動します。

❹流量表示ランプの6個すべてが点灯し、自動測定／検知が完了したことを知らせます。この時点より流量表示ランプ6個点灯相当の流量（1000ℓ/h:2074、1350ℓ/h:2076/2078（ポンプ流量））設定でのコンスタントフロー運転が始まります。

注意事項

自動計測を行っている間は、絶対にシャットオフレバーをOFFの方向にしないでください（ONの状態のままで作業）。

本フィルターを作動後、一度停止させた後に再スタートする場合

※ 作動を停止する時は電源プラグをソケット/コンセントより外してください。

※ 給餌や清掃等で、運転を止めた後に、再スタートの為に電源を入れた場合は以下のようなランプ表示となります。清掃等でモーターヘッドの取外し、再組み立て後の再スタートを行う場合は、電源を入れる前に、別途記載の清掃後の再セット、呼び水作業が完了している事をご確認ください。又、コネクター（電源アダプター）、電源プラグを濡らした場合は必ず乾燥させてからご使用ください。

● 電源を入れる（電源プラグをコンセントに差し込むと）と“本フィルターを初めてセットする場合”（36P）を経て、電源を切る10分前の設定（機能）で再スタートします。

例1 午後3時にセットアップ。流量表示ランプ3個のコンスタントフローで運転。
午後6時に流量表示ランプ3個のコンスタントフローよりストリームファンクションへ変更。
午後6時30分に電源プラグを抜き、ろ材のセットのやり直しを行い午後7時30分に電源を入れる。
この場合は電源プラグを抜く10分前の設定（機能）である、ストリームファンクションで作動を開始します。
（電源を切る10分前はストリームファンクション）

例2 午後3時にセットアップ。流量表示ランプ3個のコンスタントフローで運転。
午後6時に流量表示ランプ3個のコンスタントフローよりストリームファンクションへ変更。
午後6時5分に電源プラグを抜き、午後6時30分に再び電源を入れた。
この場合は電源プラグを抜く10分前の設定（機能）である、流量表示3個のコンスタントフローで作動を開始します。
（電源を切る10分前は流量表示ランプ3個のコンスタントフロー）

例3 午後3時にセットアップ。流量表示ランプ3個のコンスタントフローで運転。
午後6時に流量表示ランプ3個のコンスタントフローより12時間バイオファンクションへ変更。
午後6時30分に電源プラグを抜き、ろ材のセットのやり直しを行い午後7時30分に電源を入れる。
この場合は電源プラグを抜く10分前の設定（機能）である、12時間バイオファンクションの後半の流量（12時間後の設定流量）で作動を開始します。
（電源を切る10分前は12時間バイオファンクション）

トラブルかな?と思った時、どこまで操作したかわからない時、現状の操作（機能）を忘れた時は

コントロールパネルの初期化の操作を行なうと“本フィルターを初めてセットする場合”の❹コンスタントフローの状態になります。そこから再セットしてください。

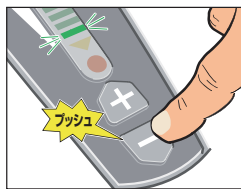
他の機能へ移行する場合

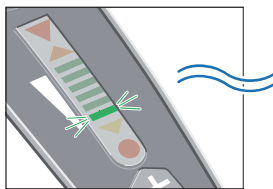
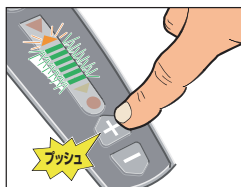
例1 コンスタントフローからストリームファンクション（パルス機能）へ移行する場合は、そのままストリームファンクション（パルス機能）のセットの手順を実行してください。

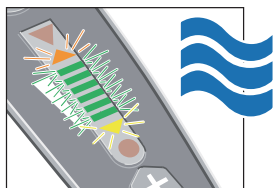
例2 ストリームファンクション（パルス機能）より12時間バイオファンクションへ移行する場合は、一度ストリームファンクション（パルス機能）を解除して12時間バイオファンクションのセットの手順を実行してください。

つまり、機能解除が付記されている機能より他の機能へ移行する場合は、機能解除を実行し、希望する機能をセットしてください。

アウトプットコントロール

流量の調節

流量を少なくする

流量マイナスボタンを1回押すと、それに伴い流量表示ランプが1個減り流量が下がります。

流量表示ランプが1個点灯の時は最少の流量（600ℓ/h:2074、780ℓ/h:2076/2078（ポンプ流量））となります。

流量を多くする

流量プラスボタンを1回押すと、それに伴い流量表示ランプが1個増え流量が上がります。

さらに流量プラスボタンを押し、流量表示ランプ全灯、プログラミングランプ、最大流量ランプが点灯すると最大の流量（1500ℓ/h:2074、1850ℓ/h:2076/2078（ポンプ流量））状態になります。この時の運転音は通常よりも大きくなります。

注意事項

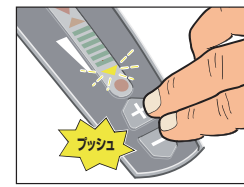
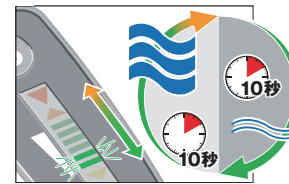
最大出力（流量）の状態では、以下に述べる各種機能は作用しません。
各種機能をセットするときは必ず最大流量の状態でないことを確認して、各種機能の手順を踏んでください。

ストリームファンクション（パルス機能）

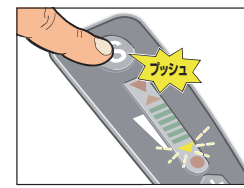
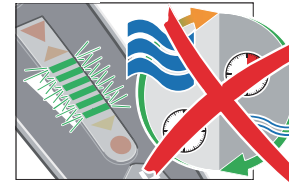
継続的に流量の強弱を交互に発生させる

ご注意:最大流量（1500ℓ/h:2074、1850ℓ/h:2076/2078（ポンプ流量））時の水流の強さ（ろ材、使用環境により異なります）を考慮に入れて、水槽サイズを決めご利用ください。
小さな水槽では最大流量時に水が飛び出す事が考えられます。
アクセサリー、他の器具との接続はセット時のご注意をご覧になりセットしてください。

最大流量の状態になっていないことを確認します。

サービスプログラムボタンをプログラミングランプが点滅するまで押します。（約2〜3秒）

点滅が始まってから10秒以内に、流量プラスボタン、流量マイナスボタンの両方を同時に押します。

10秒ごとに最大流量（1500ℓ/h:2074、1850ℓ/h:2076/2078（ポンプ流量））と最少流量（600ℓ/h:2074、780ℓ/h:2076/2078（ポンプ流量））が交互に継続的に繰り返します。
流量表示ランプは上下に移動します。

ストリームファンクション（パルス機能）の解除

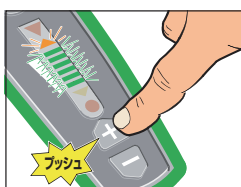
サービスプログラムボタンをプログラミングランプが点滅するまで押します。（2〜3秒）

点滅が始まってから10秒以内に、もう一度サービスプログラムボタンを押します。

これでストリームファンクション（パルス機能）が解除となります。
解除された後は、自動的にストリームファンクション（パルス機能）を設定する前の流量に戻ります。

12時間バイオファンクション
12時間ごとの排水量の自動切り替え

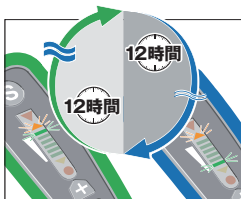
この設定を行った時より、本機能がスタートします。

ご注意:セットした強めの水流の時に、水槽より水がこぼれないかご注意ください。
アクセサリー、他の器具との接続はセット時のご注意をご覧になりセットしてください。

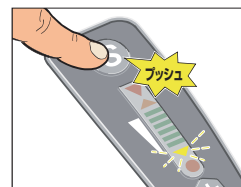
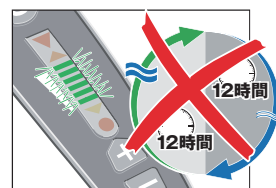
例:午前8時から午後8時までの希望流量。午後8時以降翌朝8時までの希望流量。以降12時間ごとの繰り返し運転を設定をする場合。
午前8時または午後8時に本機能の設定を行います。

最大流量の状態になっていないことを確認します。

最初に、設定開始より12時間後の希望流量を、流量プラスボタン、流量マイナスボタンを押して設定します。

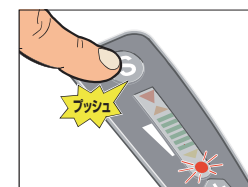
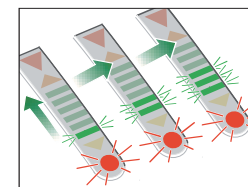
サービスプログラムボタンをプログラミングランプが点滅するまで押し続けます。(2〜3秒)

プログラミングランプの点滅が始まったら10秒以内に設定開始直後より12時間の流量を、流量プラスボタン、流量マイナスボタンを押して設定します。

本機能の運転が始まると、最大流量ランプと運転開始より12時間の設定流量に対応する一番上の流量表示ランプのみ点灯します。運転切り替え時刻の12時間後には最大流量ランプとその時の設定流量に対応する一番上の流量表示ランプのみ点灯に切り替わり表示します。

12時間バイオファンクションの解除

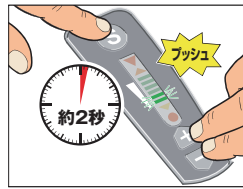
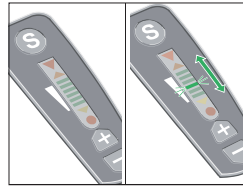
サービスプログラムボタンをプログラミングランプが点滅するまで押し続けます。(2〜3秒)

点滅が始まってから10秒以内に、もう一度サービスプログラムボタンを押します。

これで12時間バイオファンクションが解除となります。
解除された後は、自動的に12時間バイオファンクションを設定する前の流量に戻ります。

サービスインディケーター
ろ材掃除時期の表示設定

最大流量の状態になっていないことを確認します。

サービスプログラムボタンを一度押します。

サービスインディケーターランプが点灯し、流量表示ランプも点灯していきます。流量表示ランプ1つが1ヶ月を示します。
3個点灯した場合は、3ヵ月後の掃除の必要を意味します。
6個点灯した場合は、6ヶ月後または6ヶ月以降の掃除の必要を意味します。

約10秒後、自動的に元の設定流量の表示に戻ります。

コントロールパネルの初期化(工場出荷時設定の状態に戻す)

最大流量の状態になっていないことを確認します。

サービスプログラムボタン、流量プラスボタン、流量マイナスボタンの3つを同時に、2秒以上押します

全てのライトが消え、運転も止まります(約5秒間)。その後流量表示ランプが上下に点滅移動し、自動測定機能が開始されます。

流量表示ランプの6個すべてが点灯し、自動測定が完了したことを知らせます。この時点より流量ランプ6個点灯相当の流量(1000ℓ/h:2074、1350ℓ/h:2076/2078(ポンプ流量))設定でのコンスタントフロー運転が始まります。
37ページ上❹と同じ状態です。

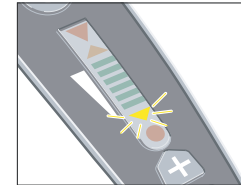
マニュアルモードの設定と解除

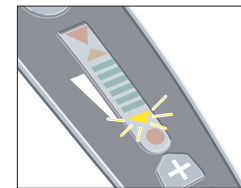
エーハイム2074/2076/2078を他のエーハイムフィルター(例:クラシック2213、2217等)と同じようにマニュアルモードで使用することも出来ます。この場合、ここに述べております各種機能は作動致しません。
マニュアルモードでの流量調節:流量プラスボタン、流量マイナスボタンそれぞれを押して調節します。コンスタントフロー機能を始め、5ページ(2076/2078)、19ページ(2074)に記載されている各種機能"本製品の特徴"は作動致しません。

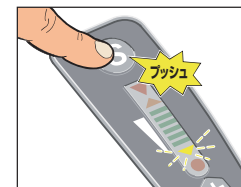
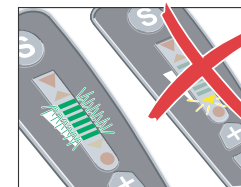
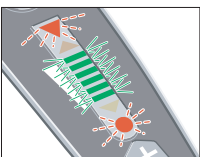
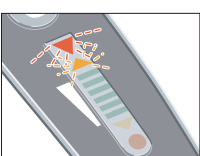
マニュアルモードの設定

最大流量の状態になっていないことを確認します。

サービスプログラムボタンをプログラミングランプが点滅するまで押し続けます。(2〜3秒)

プログラミングランプの点滅が始まったら10秒以内にサービスプログラムボタンを再度押します。

プログラミングランプが点灯して、マニュアルモードになっている事を示します。

マニュアルモードの解除

マニュアルモードが作動中はプログラミングランプが点灯しています。

サービスプログラムボタンをプログラミングランプが点滅するまで押し続けます。(2〜3秒)

プログラミングランプの点滅が始まったら10秒以内にサービスプログラムボタンを再度押します。

マニュアルモードは解除され、マニュアルモード設定前の状態(流量)に戻ります。

エラーインディケーター

フィルター本体に何か起こった場合は、自動的にフィルターをテストして、自己(フィルター自身)解決ができない場合は、その旨をタッチパネルに表示します。

コントロールパネル(タッチパネル)上の表示	原　　因	対　　策
自動測定機能(検知機能)が30分以上継続している		エーハイムサービスセンターへご連絡ください
流量表示ランプとプログラミングランプが点灯 (セットした流量での運転ができていない) (イラストは一例です)	フィルターのろ材、ホース等がフィルターのリカバリー機能以上に汚れ/目詰まりを起している シャットオフレバーが"ON"の位置になっていない ホースの折れ曲がりや、長すぎる場合	ろ材/ホースの掃除、洗浄 シャットオフレバーを"ON"の表示のところまでしっかりと持っていく ホースの折れ曲がりを直し、適当な長さにカットする
流量表示ランプ1個、プログラミングランプ、サービスインディケーターが点灯 (流量が設定流量の半分以下になっている)	殺菌灯、クーラー等の他の器具と直結して、フィルター本体に負荷がかかり正常な運転をしていない ストレーナーがゴミ等で詰っている	殺菌灯、クーラー等を別の駆動フィルター/ポンプに接続して運転する ストレーナーの掃除をしてゴミ等を除去する
アラームランプとプロミングランプが点滅 (フィルター内に大量の空気が残っている、又は存在する)	ディフューザー、エアレーション、CO_2添加等が吸水ストレーナーの近くで行なわれているため水中のエアーやCO_2がストレーナーを通してフィルター内部に吸い込まれている シャットオフレバーがしっかりと"ON"の位置になっていない Oリングの劣化、破損 ホース接続部より空気が入っている	吸水側(ストレーナー)と反対方向にこれらの器具を移動する シャットオフレバーを"ON"の表示のところまでしっかりと持っていく 新しいOリングに取り替える 接続部を全てチェックする

コントロールパネル(タッチパネル)上の表示	原　　因	対　　策
アラームランプ、サービスインディケーターが点滅、6個の流量表示ランプが点灯 (ポンプ部の温度が正常でない)	インペラーのロック、破損	インペラーのチェック、必要であれば交換
アラームランプと最大流量ランプが点滅 (ポンプが作動していない)	フィルター内に水が入っていない インペラーがセットされていない セラミックシャフト(スピンドル)が破損/折れている インペラーの劣化、破損	フィルター内に水を入れる インペラーを正しくセットする セラミックシャフトを新しいものに交換 インペラーを新しいものに交換

プロフェッショナル3e シリーズ 仕様比較

	2074	2076	2078
エーハイムコード	2074330	2076330	2078330
ポンプ流量	600～1500ℓ/h	780～1850ℓ/h	780～1850ℓ/h
最大揚程	2.2m	2.6m	2.6m
定格電圧	100V(ヘルツ共用)	100V(ヘルツ共用)	100V(ヘルツ共用)
消費電力	10～35W	10～35W	10～35W
ろ過槽	7.4ℓ	12.5ℓ	14.5ℓ
付属ろ材コンテナ	1.5ℓ×3個(ろ材付き) 0.5ℓ×1個(プレフィルター)	2ℓ×3個 0.6ℓ×1個(プレフィルター)	2ℓ×4個 0.6ℓ×1個(プレフィルター)
付属ろ材	プレフィルター用粗目パッド×1枚 細目パッド×1枚 サブストラットプロ レギュラー×1.5ℓ バイオメック×1.5ℓ、メックプロ×1.5ℓ	プレフィルター用粗目パッド×1枚 細目パッド×1枚	プレフィルター用粗目パッド×1枚 細目パッド×1枚
ホース径	吸・排水ともに16/22mm(4005940)	吸・排水ともに16/22mm(4005940)	吸・排水ともに16/22mm(4005940)
適合水槽 注1	60cm以上(奥行30cm以上/高さ36cm以上)	海水魚:75cm以上 熱帯魚/淡水魚:75~90cm以上	海水魚:75cm以上 熱帯魚/淡水魚:75~90cm以上
適用	淡水・海水両用	淡水・海水両用	淡水・海水両用
本体寸法(mm)	244×238×398(H)	265×265×480(H)	265×265×530(H)

注1：飼育する魚種や生き物およびその数量により異なります。

輸入発売元：エーハイム ジャパン株式会社

住所:〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬2-6 ワールドビジネスガーデン マリブイースト

【修理・保証サービスなど製品に関するお問い合わせ】

エーハイムサービスセンター(平日9:00～17:00 土・日・祝日は休み)

TEL:043-297-3901 FAX:043-297-3531 Eメールアドレス service.center@eheim.co.jp

総合カタログご希望の方はエーハイムサービスセンターまでメール又はFAXでお申し込み下さい。

エーハイム ジャパンホームページ http://www.eheim.jp

製品情報、比較テスト、機種別分解図、各種取扱説明書、アクセサリー別の使用方法や分解図などご覧になれます

Jun / 2010